

こんにちは
漫画家の
井上です

いきなり
ですが……

みなさんは
「人身取引」って
知っていますか？

「人身売買」も
人身取引の中に
含まれます



では
世界の中で
人身取引の
犠牲者が
多いのは
アジアだと
いうことは？



アジアの
メコン地域で

日本が人身取引対策の
プロジェクトを
支援していることは
知っていますか？



日本が？

知らなかった……!!

……というわけで
くわしく
知りたくて
取材に行つて
きました



訪れたのは
ベトナムの首都
ハノイ

私たちの
プロジェクトの名前は
「人身取引対策
ホットライン」にかかる
体制整備
プロジェクト」です

ちょっと
長いです

ベトナムには
児童保護局が
運営する
「チャイルドヘルプ
ライン」
があり

「子ども電話
相談室」みたいなもの
↓

人身取引の
相談に
対応できるように
支援してほしい

…と

ベトナム政府から
要請をうけて
2012年7月から
スタートしました



まず
解説させて
下さいね

人身取引とは

誰かを
おどしたり
誘拐したり
暴力を
ふるったり
だましたりして

別の国や
どこかに
連れて行って

その人から
搾取する（利益を
しぼり取る）
ことをいいます

どんな
人身取引が
あるの？

一番わかりやすいのは
売春などの
性的搾取ですが

その他にも
人身取引には
たくさん形が
あります

強制結婚



強制労働



代理母



臓器摘出



性的搾取



特に強制労働は
いろんなものが
あつて

漁業
農業
食品加工業

物乞いを
させて
恵んでもらった
お金を全部
取り上げたり

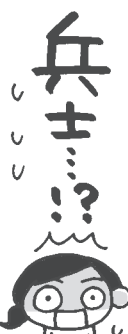
人身取引の
被害者って
女性だけじゃ
なかったんだ
ですね…



路上で
裸にされて
いる子



兵士として
従事させたり…



そんなに
たくさん
人身取引が
あったなんて…

え、
なんで
そんな

もう一つ
意外に
知られて
いないのは…

よく
こんな誤解が
あるんですが

え？
おどされて
結局
働くことに
同意した？

だまされて
「働く」って
言ってしまった？

強制労働
させられていた

本人が
同意したなら
人身取引じゃ
ないですね

警察

売春
させられて
いた

こうした場合
国際的には
被害者が
同意しているか
していないかは

関係ないんです

どれくらいの人
が
人身取引の
被害に
あっているの？

今
世界では
2100万人の
被害者がいて

他の国へ
連れて行かれる
被害者は
毎年80万人と
いわれています



60%以上は
女性

他の国に
連れて行かれるケースと
国内の他の地域へ
連れて行かれる
ケースがあります

国境を越える
被害者
毎年80万人

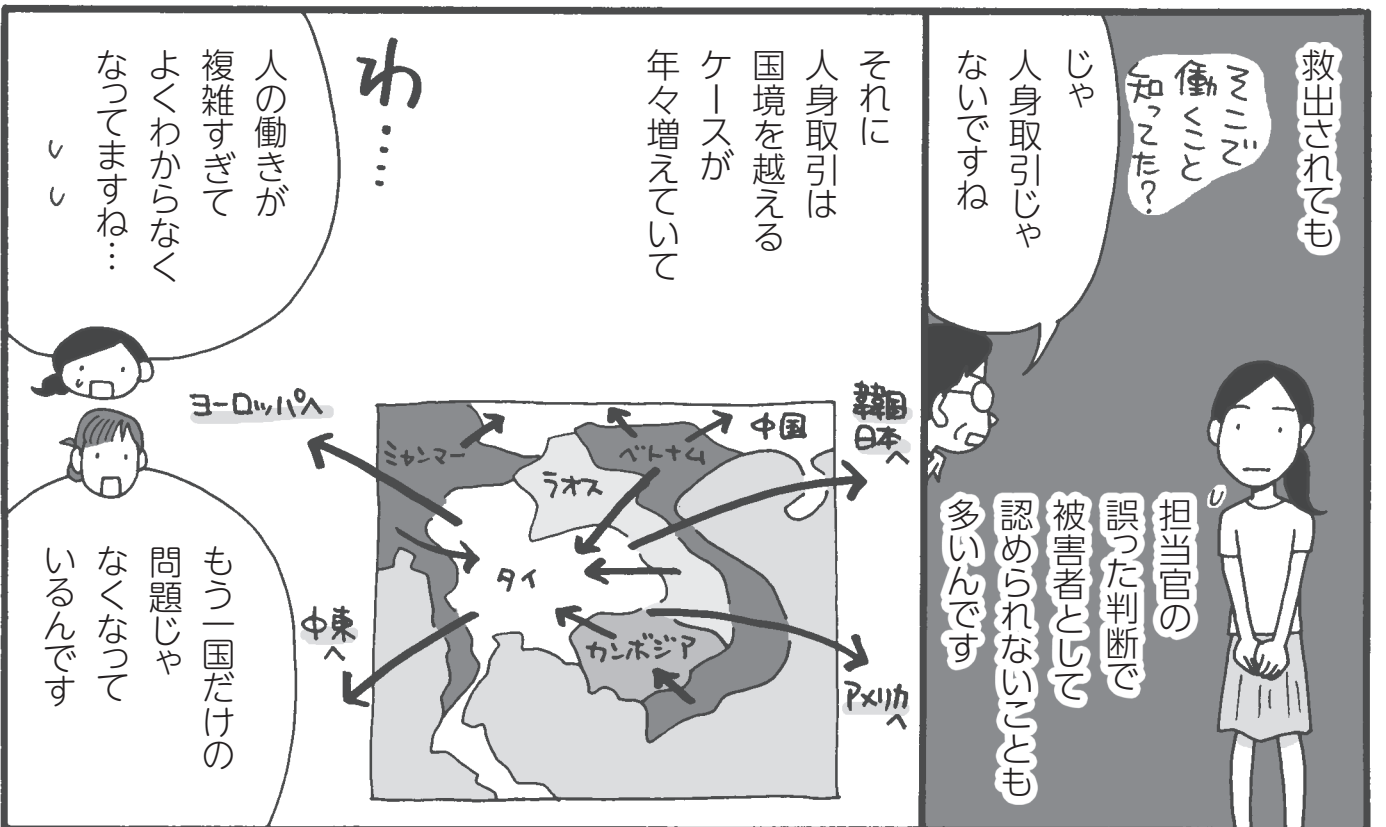
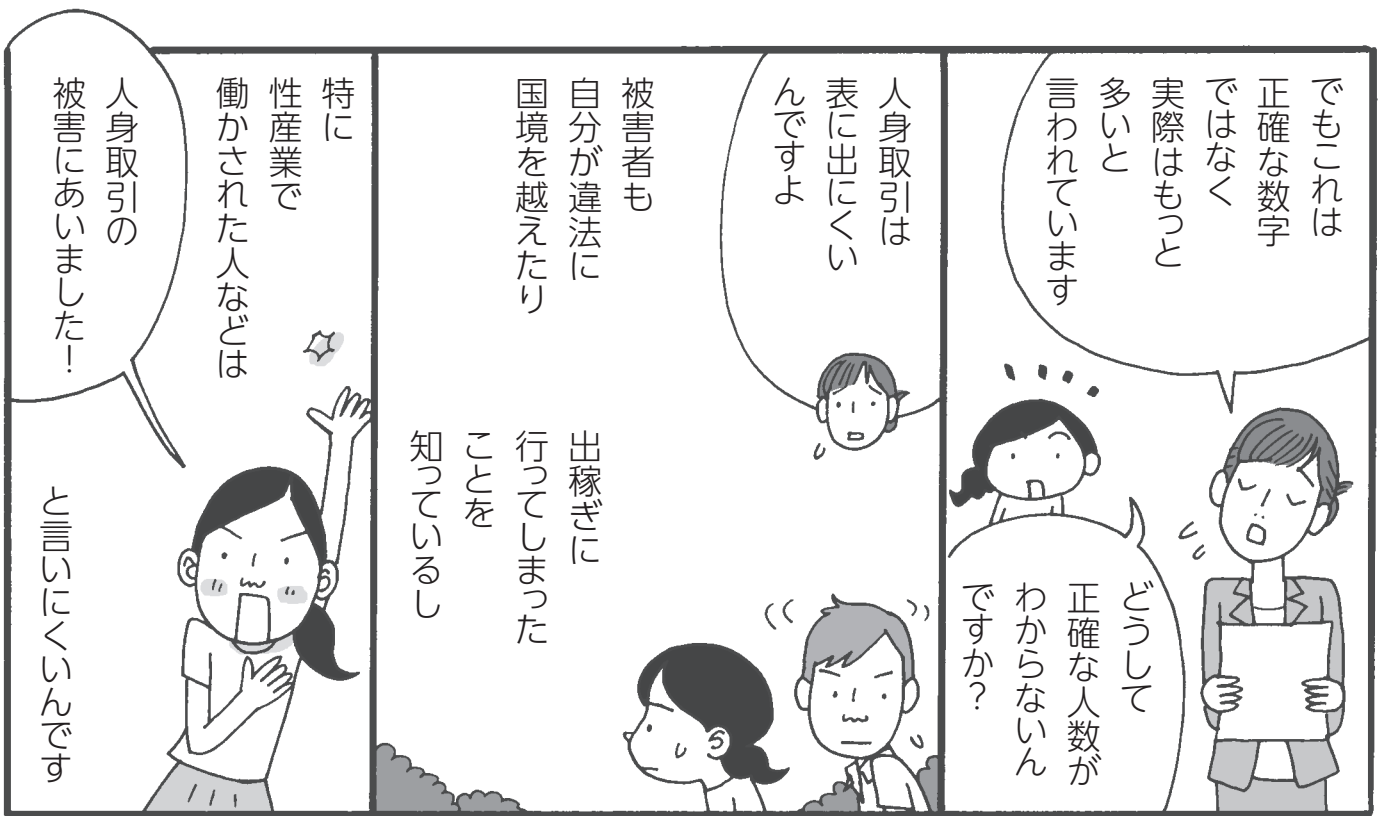
被害者の
79%が
性的搾取

18%が
強制労働

へー！
知らな
かった…



※暴行・脅迫・詐欺などの手段が用いられた場合、
被害者が同意しているか否かは問わない



そのために
国際機関では
いろいろな
とりくみが
行われています

とりしまる
法律を
つくろう！



① 政策

③ 予防

人身取引とは…

被害者に
ならない
ためには…



もとの
生活に
戻るために…



④ 保護

② 加害者取締

被害者を
ちゃんと
認定する
ために
こんな
知識が
必要です



③ 予防と

その中で
私たちの
プロジェクトが
取りくんでいるのは



④ 保護 社会復帰です

具体的に
どんなことを
しているんですか？



人身取引の
相談を
電話で
受けて



娘さんが
いなくなったら？
名前は何？
年は何？



警察や
国境警備隊などの
関係機関につないだり

救出された
被害者が

シエルターなどで
心身ケアや

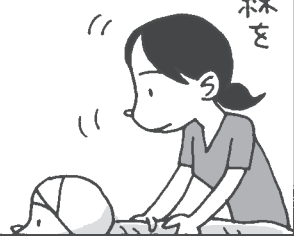


一時的に
被害者を
保護する
宿泊施設

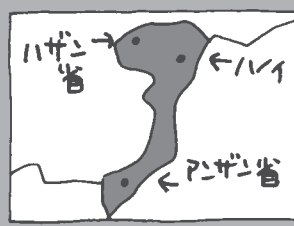


社会復帰のための
サポートが
受けられるよう
支援機関に
つないでいます

職業訓練を
うけたり



人身取引の
相談をうける
「ホットライン」の
コールセンターは



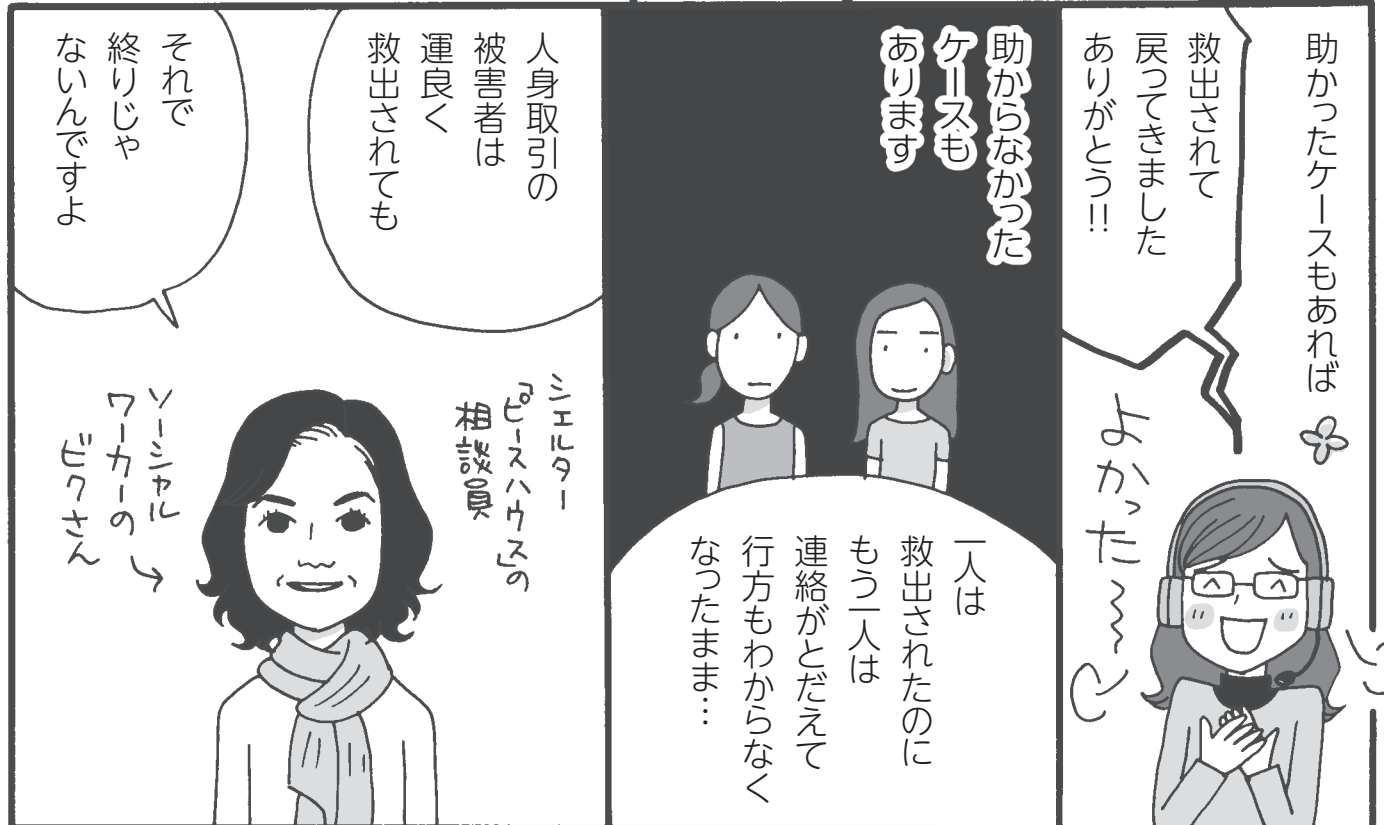
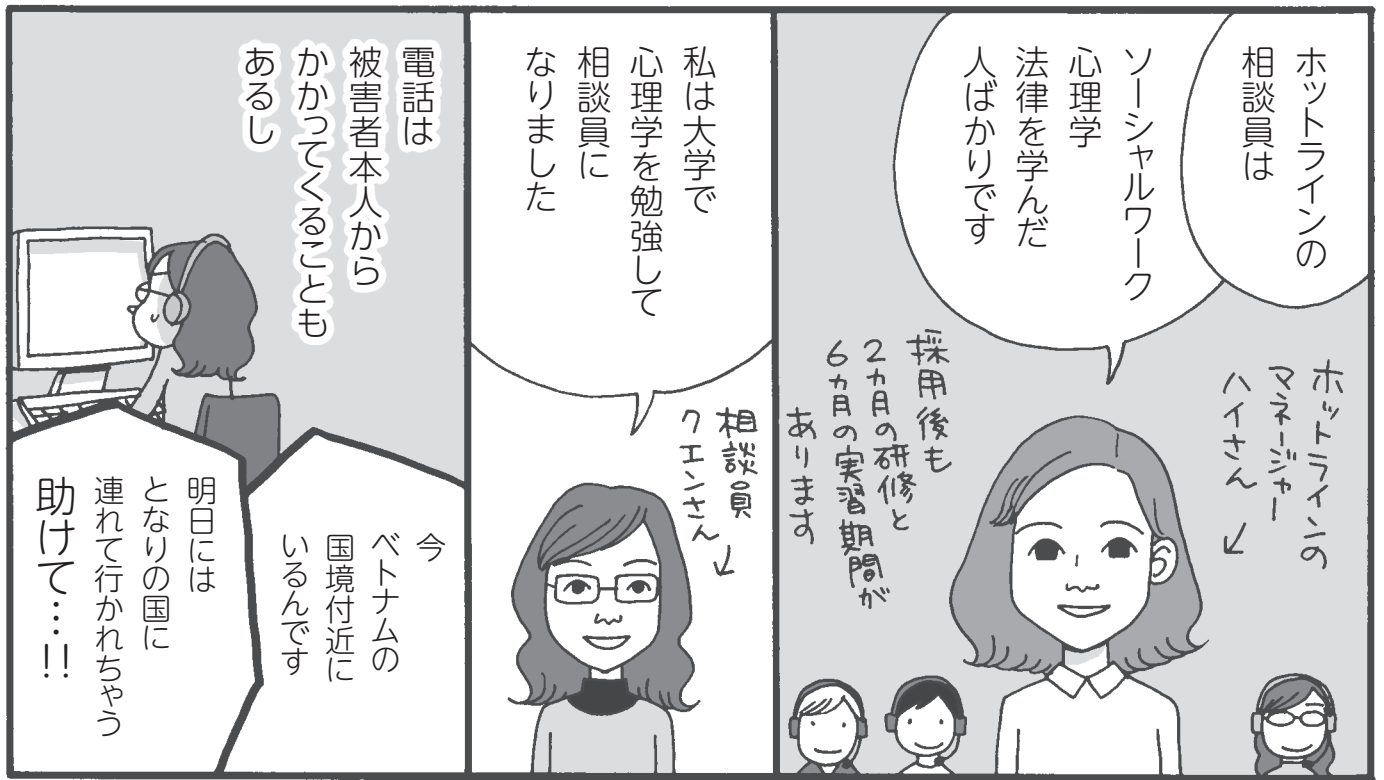
現在
ベトナムに
3カ所
あって

ハノイの
ホットラインは
21名の
相談員が



交代で24時間
電話を
受けています





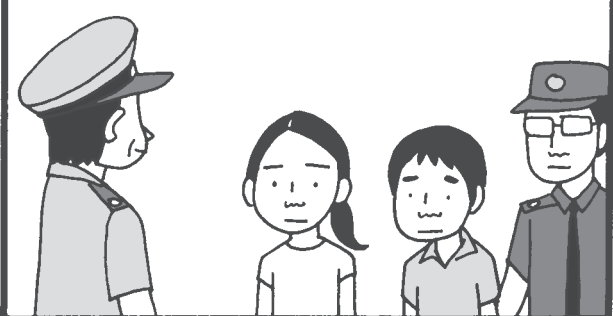
国外で
救出された場合

その国の警察が
被害者を
国境まで
連れてきて

ベトナム警察が
引き取ります

被害者は
着のみ着のまま
救出されることが
多いので
必要なものを
持つて
迎えにいき

心身に
ダメージがある
被害者は
シエルターに
入所します



昨年
10人の若者が
国外で
救出された時は

14歳から
21歳の男女

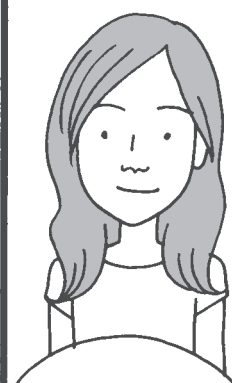
靴の工場で
無給で
働かされていた

少数民族の
村から
だまされて
連れて行かれた

シエルターで
数日間
保護したのち
地元に戻しました



でも
精神的な傷を
負った被害者は
立ち直るのに
時間がかかります



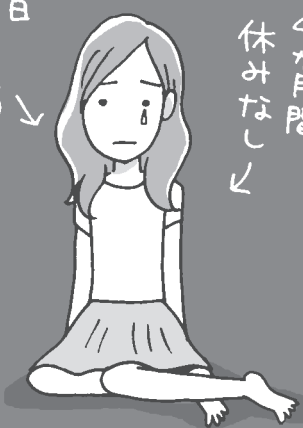
今
入所している
20才の
女の子は
3回目の入所で
3年間
サポート
しています

その子は
17才の時に
友達と2人で
ハノイへ
遊びに来て



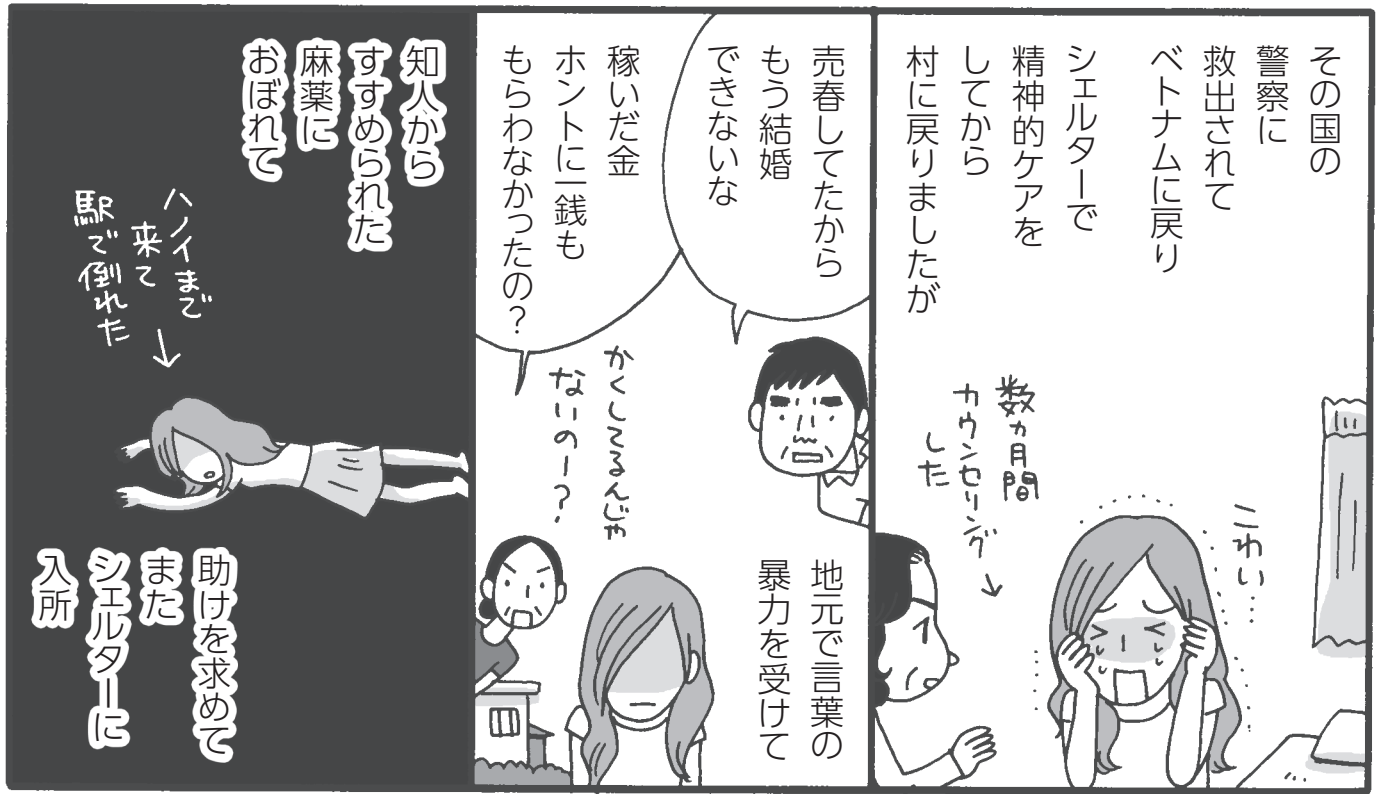
とじこめられて
売春を
させられました

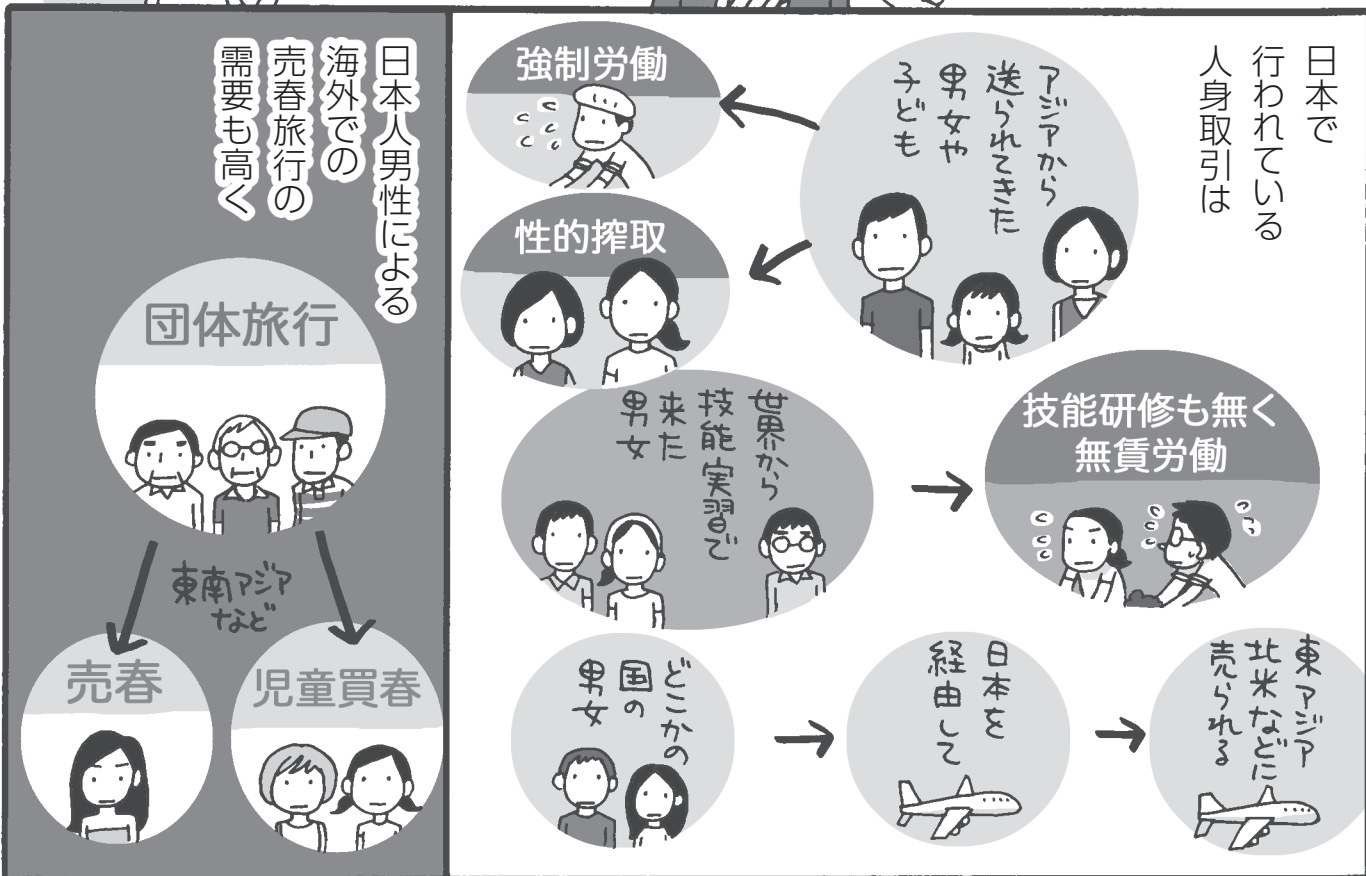
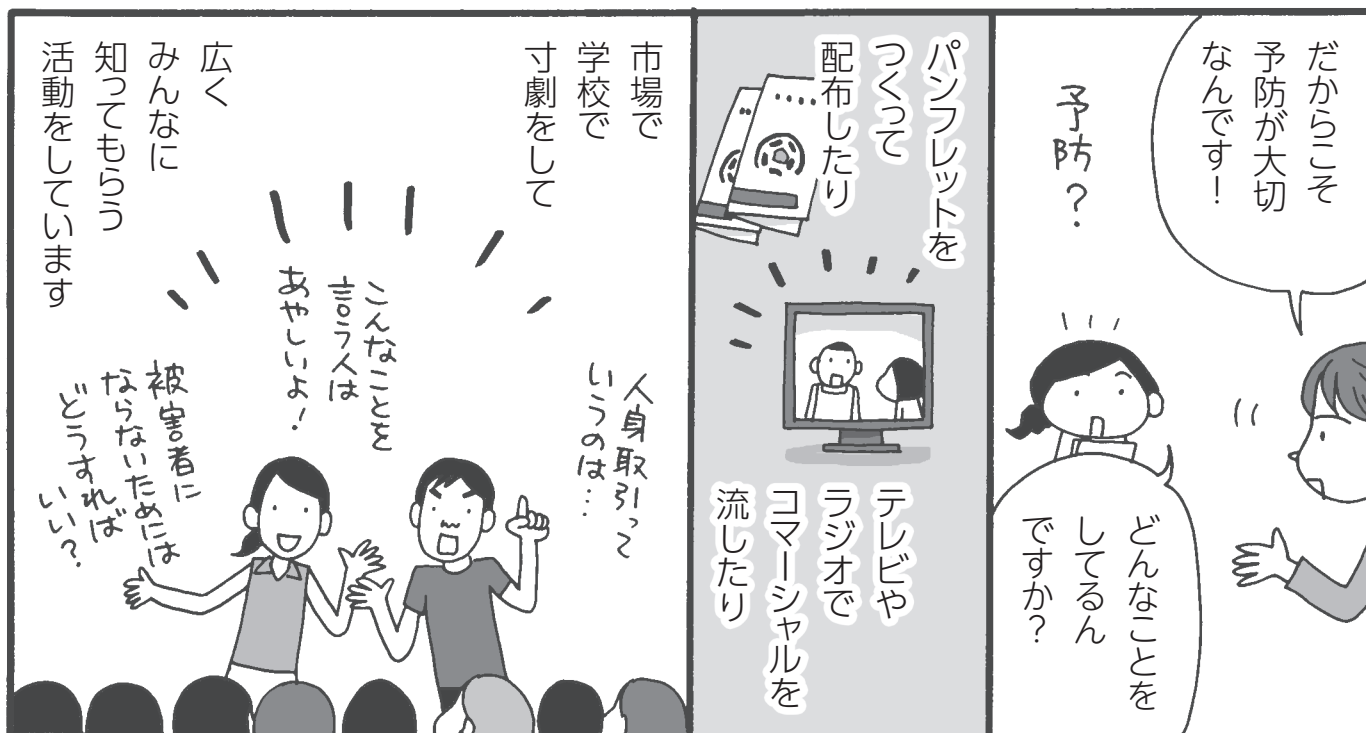
4ヶ月間
休みなし



1日
15~16人の
男性の相手を
させられた

→ 女の子は女性専用シエルターで
男の子は関連宿泊所で保護





国内でも
日本人が
日本人によつて
被害をうける
ケースが
たくさんあり

家出した
少年少女



貧困の子ども



JK(女子高生)
ビジネス



インターネットに
よる
売春ネットワーク



悪質な手回しは
他の国と
同じです

日本人男性と
偽装結婚して
日本に入国させる



パスポートを
とりあげる



借金を
背負わせて
逃げられなくする



自分の国でも
人身取引があるって
シロクナ事実
ですね...



残念ながら
日本は
アメリカ国務省による
「人身取引報告書」で

2004年に
「監視対象国」として
勧告をうけて
しまいました

その後
日本は
積極的に
人身取引対策に
とりくむように
なったのです

2005
「人身売買罪」
成立

2005
アジアでの
調査スタート

2009
タイで
人身取引対策
プロジェクト
スタート

2012
バトナ
ミャンマーで
プロジェクト
スタート

日本国内
だけじゃなくて
アジアでも
とりくんでいるのは
なぜですか？



人身取引は
一つの国だけの
問題ではなく

「地域」として
とりくむ必要が
あるんです

GMS(大メコン流域国) + 日本



日本も
その「地域」に
入っているという
意識が大切なんです

人身取引について
私たち日本人が
できることは
何ですか？

①「自分の
身近にも
あるんだ」と
知ること

そういう
意識があれば
予防ができます

② 知らずに
加害者に
ならないこと

え？
安く
働いてくれる
外国人を
紹介してくれる？

アジア女性の
ハブに
いこーっ

様子が
おかしい…
もしかして
人身取引？
通報しよう！

プロジェクトが
始まって
3年8カ月

私たちの
プロジェクト支援は
終わりますが

ベトナムで
つくりあげた
ホットラインの
活動は
これからも
続きます

課題は
まだまだ
ありますが

50以上ある
少数民族の
言葉の問題
もっともっと
ホットラインの
電話対応を
知ってもらいたい



今まで
アジアには
なかった

本格的な
働きができる
ホットラインの
体制を
生み出すことが
できました

アジアと
日本の
人身取引被害者を
減らすための

次につなぐ
大きなステップを
つくることです
できたと思います

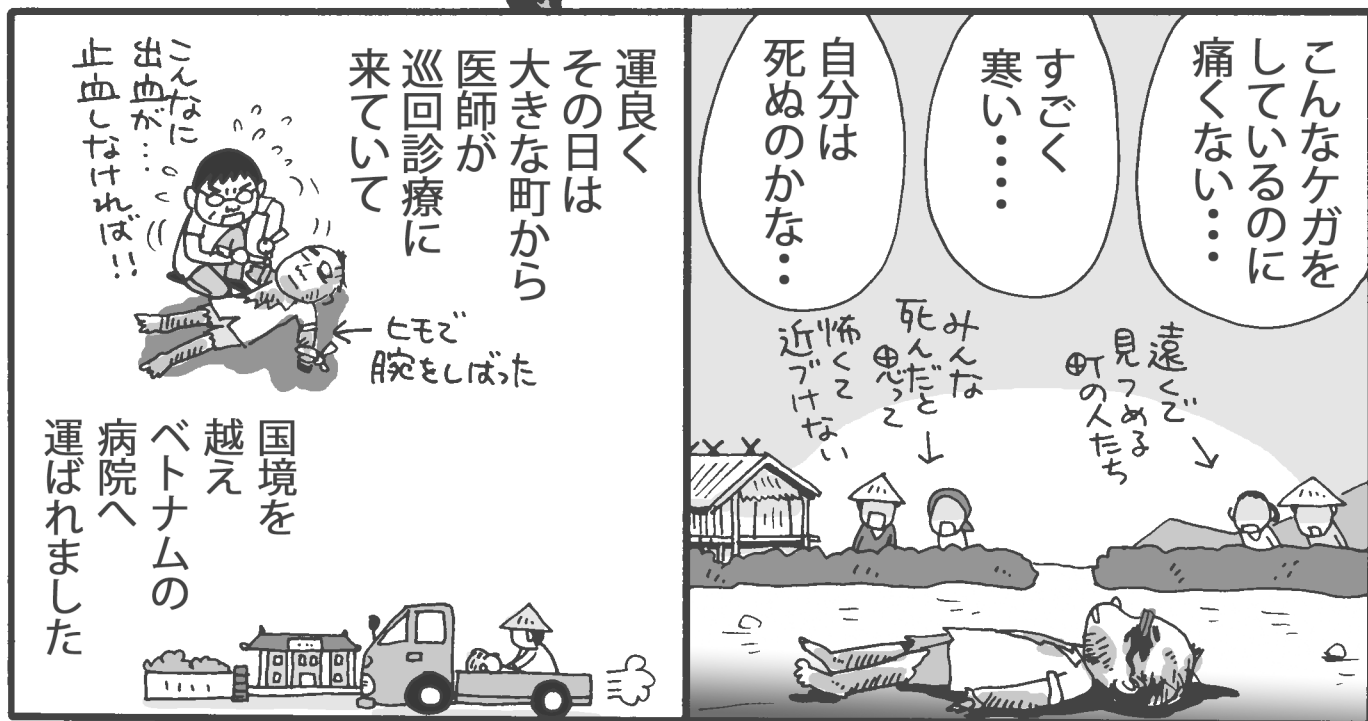
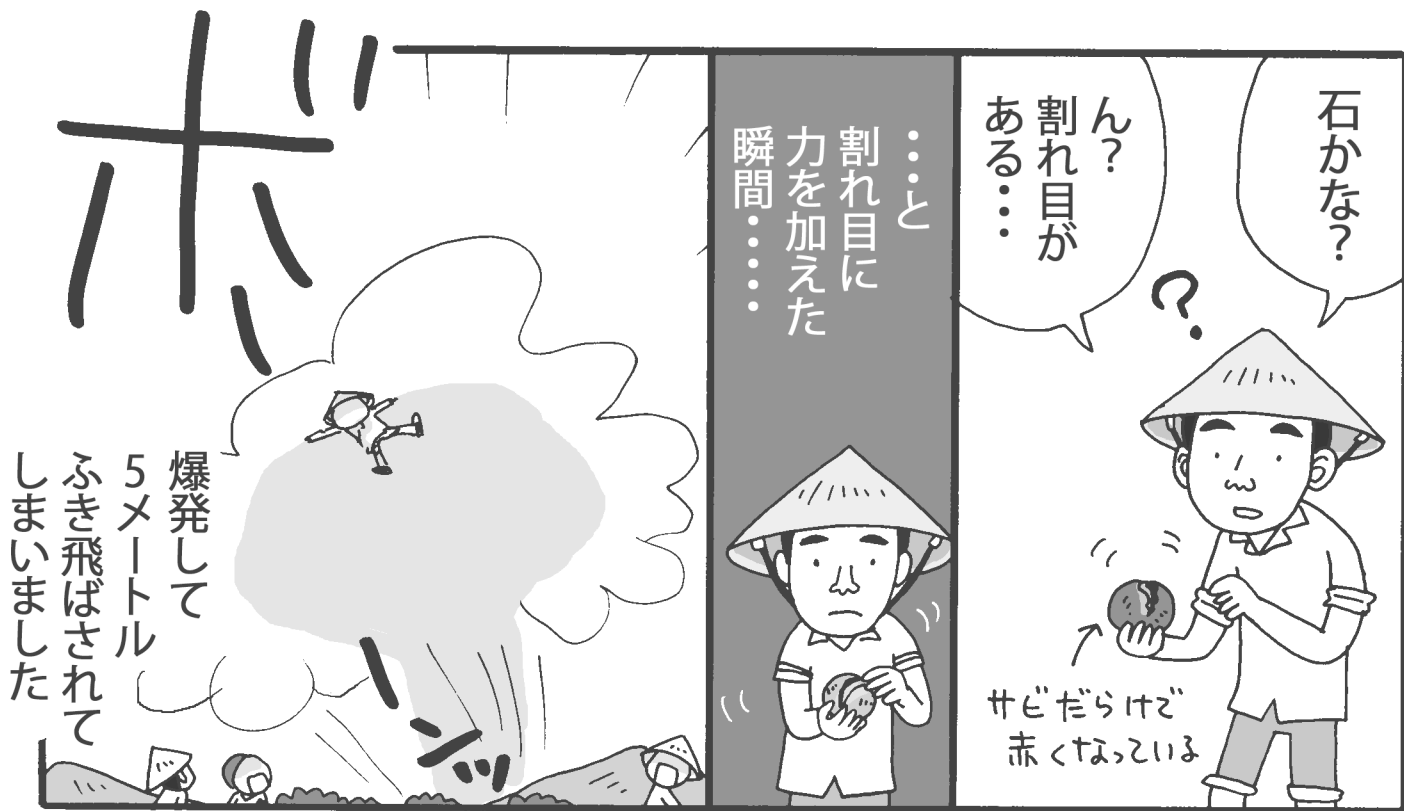


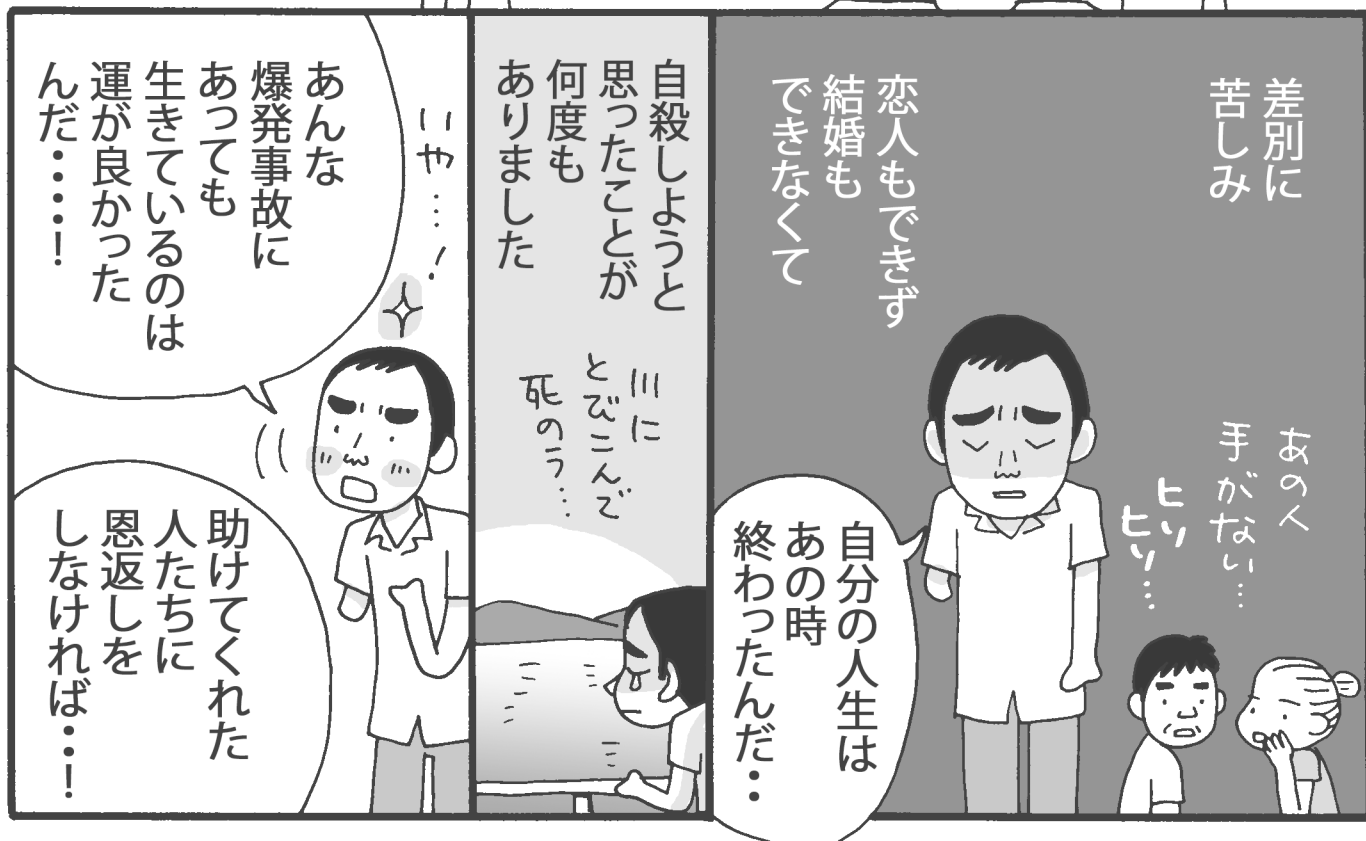
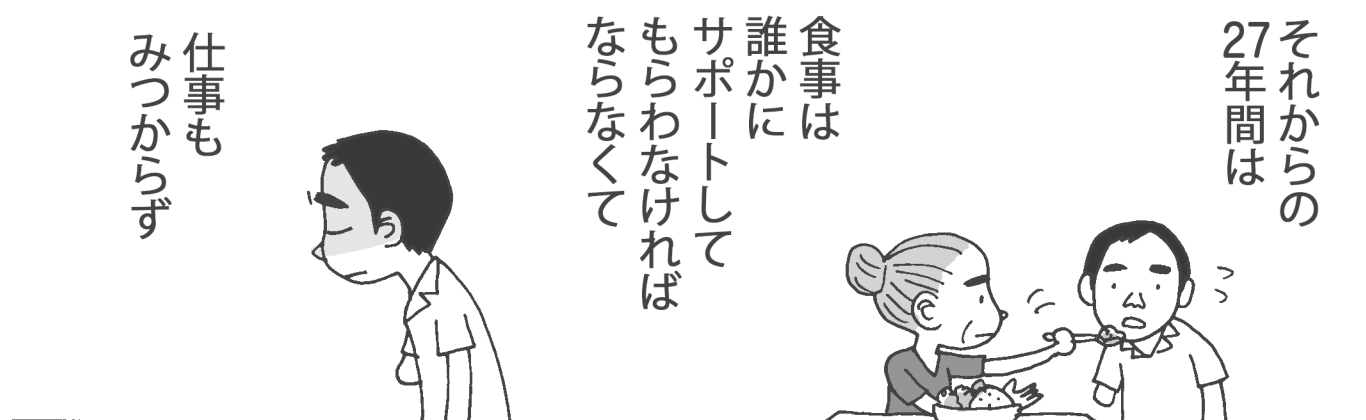
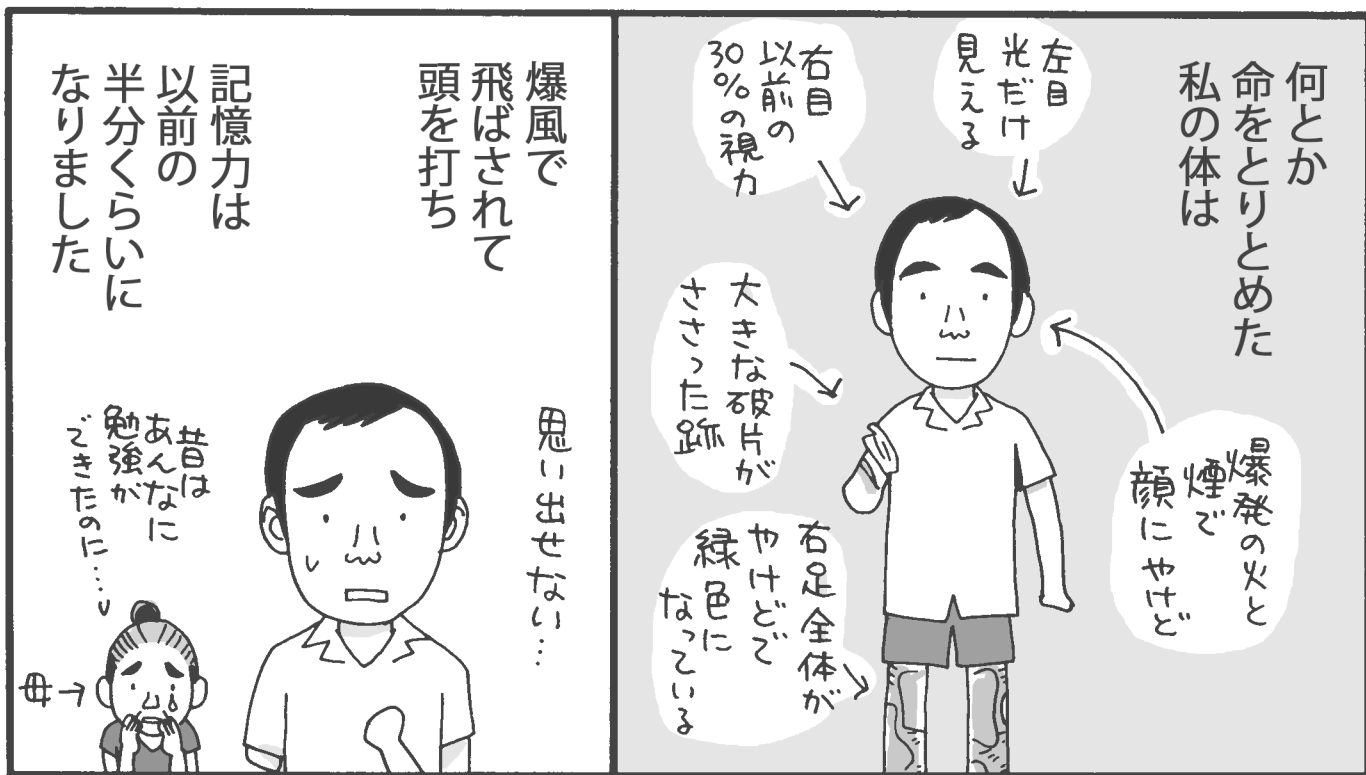
今
世界中で
起こっている
紛争

戦争や
紛争が終わっても

何十年も
そこに残り
人を
傷つけ続けるのが
不発弾です







それを
原動力にして
頑張つて
生きて

自分の会社を
持つことが
できました

手は
使えないけど
頭を使つて
仕事しよう

事故にあう前
この国に
不発弾が
あることは
知つて
いましたか？

ベトナム戦争で
投下された
爆弾が
うちの畑にも
あるかも……
ということは
わかつていました

でも
農作業しないと
生活して
いけないから……

みんな
不発弾のことは
知つていても
この土地で
仕事して
生きていかねば
ならないんです……

お話が
終わつた後

なくなつた右手を
自分から
差し出して
握手してくれた
ブンテンさん

ラオスまで
来て
話を
聞いてくれて
ありがとう

コフチャイ
ライライ

ブンテンさんが
不発弾の
被害にあつたのは
ベトナム戦争が
終わつてから
14年後

そんなに
たつのに……

戦争つて
人の人生を
こんなに變えて
しまふんだな……

実は
ラオスでは
40年たつた
今も

JICAから
UXO Laoに
派遣されて
いる
林さん

不発弾の
爆発で
被害者が
出ているんです

えっ
今も!!!

1年前に
不発弾で
遊んでいて
被害にあつた
子ども達がいる
村があります

行こ
みましょ

行こ

次に
訪れたのは

世界遺産のまち
ルアンパバーン



その村は
ルアンパバーンの
中心から
車で40分

小さな
ボートで
川を
1時間上り



赤土の山道を
登った
所にある
小さな村でした

急斜面に
20軒くらいの
集落

子どもたちは
みんな
裸足



不発弾で
ケガを
したのは
この子たちです

村長さん

2人の
男の子は
亡くなつて
しまいました

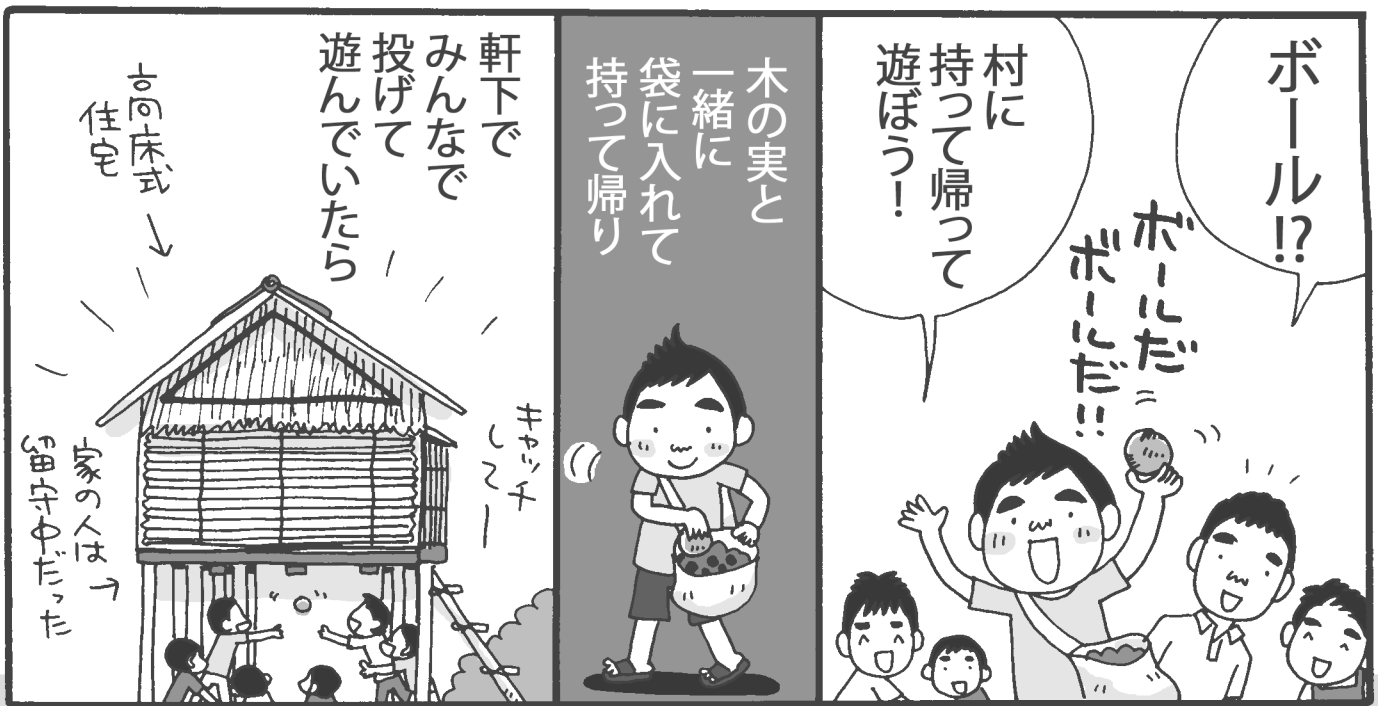
10歳から
14歳の男の子

あの日
6人の
子どもたちは
いつものように
森の中へ
自分たちが
食べる
木の実を
とりに行き

この村では
木の実を
食べている

何か
丸いものが
落ちてる!





ボール!?

ボールだ!!
ボールだ!!

村に
持つて帰つて
遊ぼう!

木の実と
一緒に
袋に入れて
持つて帰り

軒下で
みんなで
投げて
遊んでいたら

古同床式
住宅

家の人は
田舎だった

キャッチ
しこー

地面に
落ちて…



爆発の音は
村中に
響き

なんだ!!?
なんだ!!?

あんな
大きな音
生まれて
初めて
聞いた…!!

となりの家の
おばあさんは
爆発の時
ベッドから
転落して
亡くなり

6人のうち
一人の
男の子が

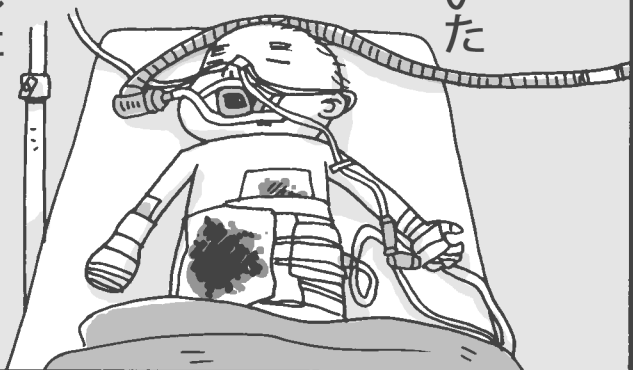
その場で
死亡

5人の子は
村人達が
ボートと
車を
乗り継いで
病院へ
運びましたが



そのうち
一人は
体から出ていた
腸が切れて
大量出血し

病院で
治療中に
亡くなりました



その他の子は

ボクは
耳を
ケガした

耳の一部が
ちぎれた



ボクは
足



ボクは
おなか

小さな破片が
当たった傷が
たくさんある



爆弾が
当たった所は
Tシャツが
ボロボロに
破れました

ボクは
おなか
が切れて

半年入院して
7カ月通院

人工肛門を
つける手術を
しました

現在も
定期検査を
受けている



今も
体の中に
爆弾の破片が
残っている
けど



この病院の
技術者は
くりこす
いづかは
摘出しな
ければ...
あぶない
部分だから
手術で
取れないん
だって...

そのせいか
今でも
時々

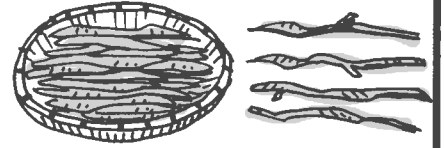
いたた

おなか
が痛
みます



この村人は
森の木から
皮をはいで
糊を作り

洗って
乾かす



わずかな
お金を得て
生活している
家庭が
ほとんどで

医療費
大変だった
でしょう：

大きな手術や
入院で：



町に住んでいる
親せきに
借金して…
今も
返しています

この村の人は
ここに
不発弾が
あるなんて
誰も
知らなかった
んです

子どもたちは
世の中に
不発弾が
あることも
知らなかった…



被害にあつて
死んだ子や
ケガをした子は
何も悪くない：

「だけど
お金がないと
治療が
できない



だから
犠牲者の
命を
守るために

治療費は
国が
負担して
ほしいです：

こんな風に
不発弾の
犠牲者は
今でも
多いんですか？

この年によりますが…

現在でも
全国で
年間40〜50人
くらいいます

2009年は
300人の死傷者が
出ました



その中でも
子どももの
被害は
多いですね…

野原で
遊んでいて
知らずに
踏んで
爆発したり



フハツダン
みつけたー

危険な物だと
十分にわかって
いなかったり

大人の場合は
暖をとっていたら

たき火の下の
土の中に
不発弾が
埋まっていた
爆発したとか

拾った金属を
売って
生活している人が

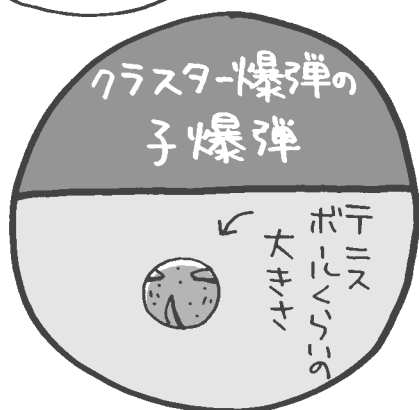
金属をとるために
大型の爆弾を
解体して
爆発したとか：



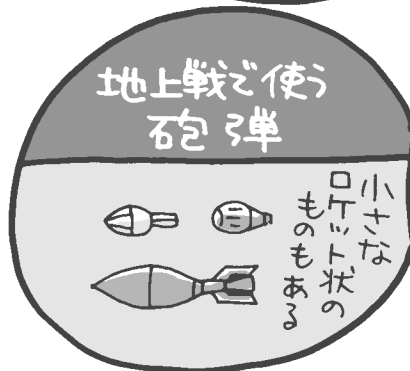
そんなに
身近に
不発弾が
あるんですか？

ラオスでは
ベトナム戦争で
280万トンの
爆弾が
投下され
たんです

当時の
ラオスの人口は
300万人だから：



不発弾は
大きく
3種類に
分けられていて

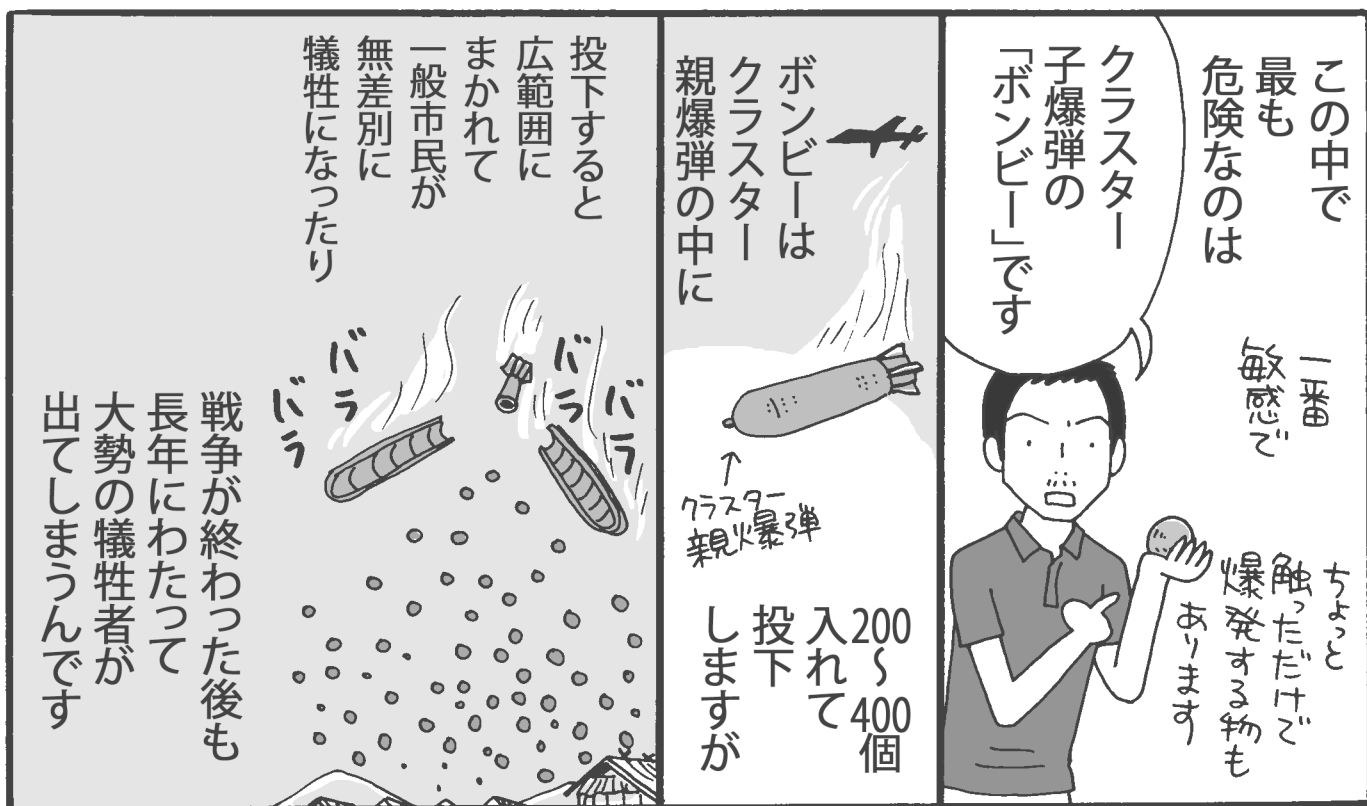


ひとり
1トンの
爆弾・・・!!?

おおざっぱに
言うとう・・・

そうですね





※ 2016年4月現在



この
除去現場では
1チーム
11人が

毎日
朝8時から
夕方4時まで
除去作業を
しています

メンバーの中には
運転手ユン
ナースユンがいて
女性作業員も
2人います

チーリーダー
↓



作業員は
6週間以上の
トレーニングを
受ける決まりが
あり

作業も
すべて
決められた
通りに
行われます

不発弾は
金属探知機で
探します



探す前に
除去現場の
草を刈り

原則として
土地の
持ち主が
刈る
↓

作業員が
刈ることも
ある



これが
大変なん
ですよ



全体を
区分けして

1区画を
2人で
合計2回
探知します



見逃がして
いないか
チェック

ボンビーが
みつかったら
危険なので
その日のうちに
爆破します

今から
爆破処理するから
見ていて下さい



この付近に
いる人
山の中に
いる人は

拡声器で
4〜5回
アナウンス
↓



今から
爆破処理を
しますので
避難して下さい

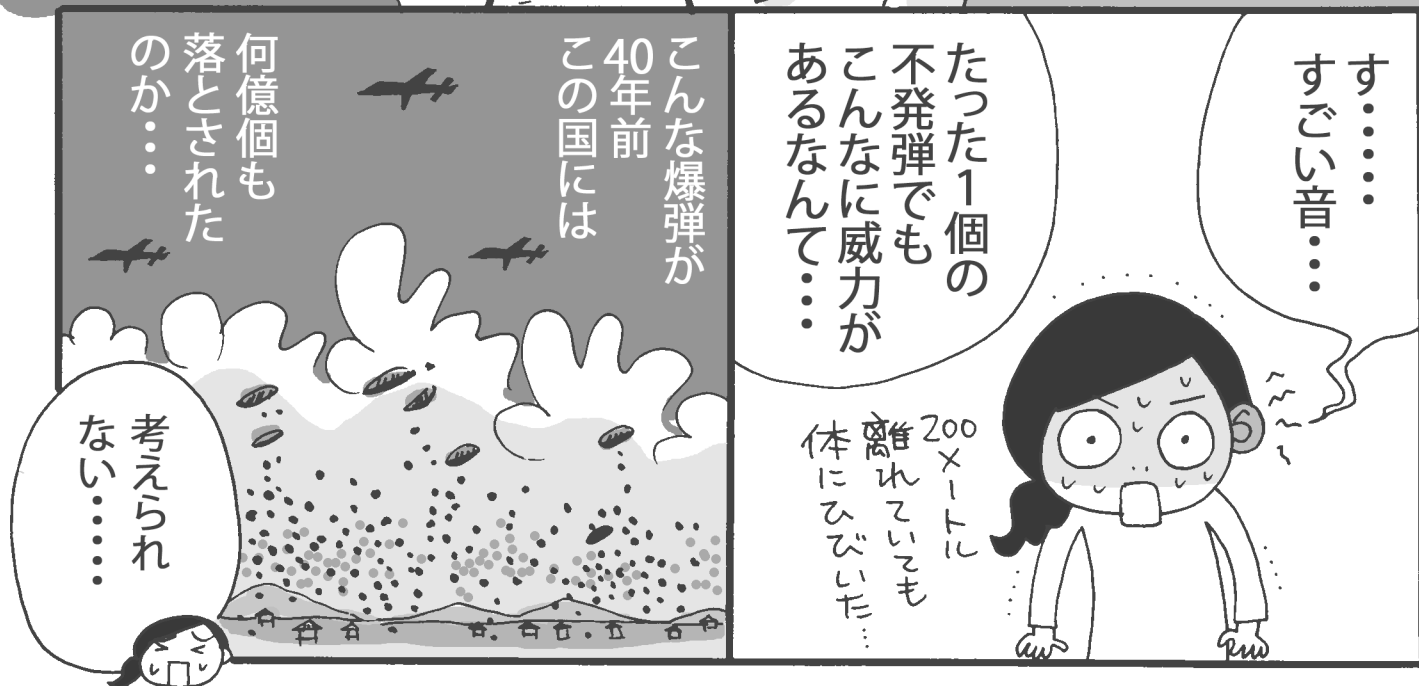
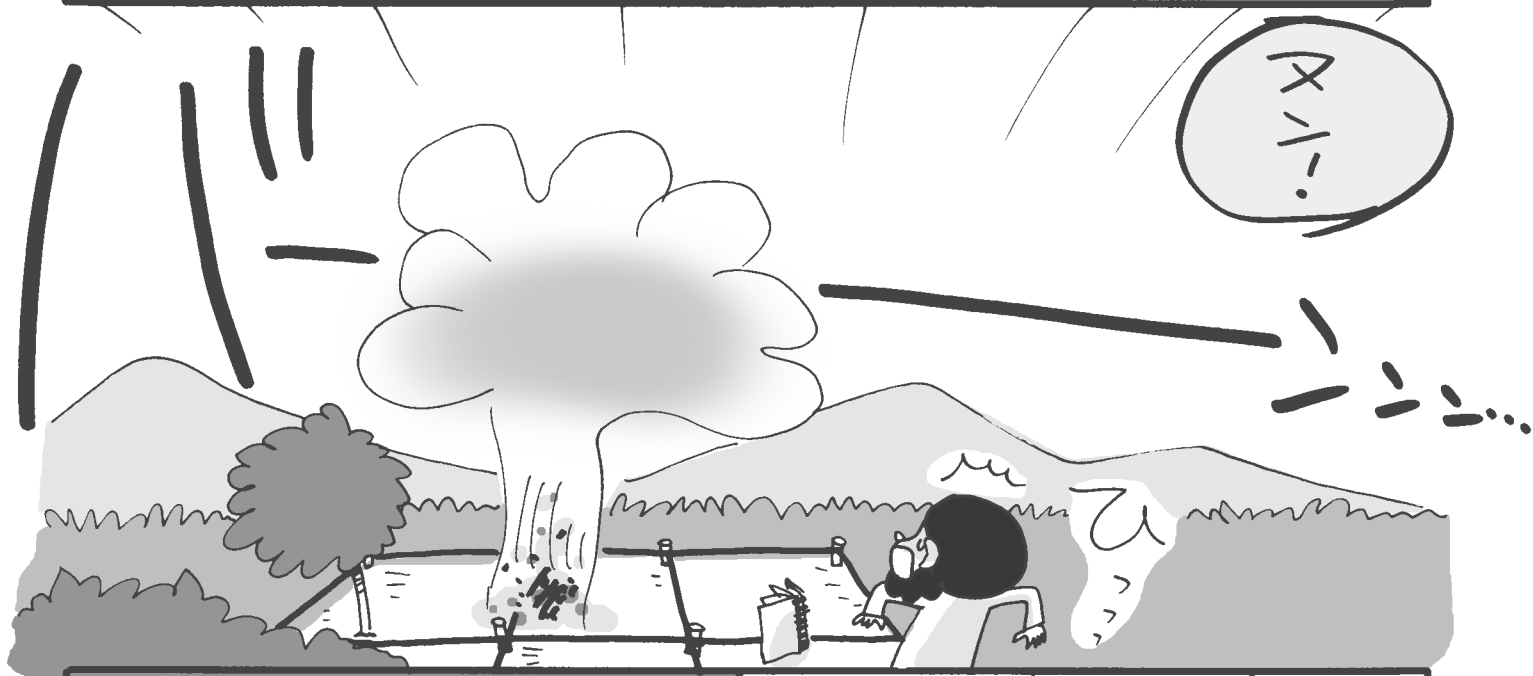
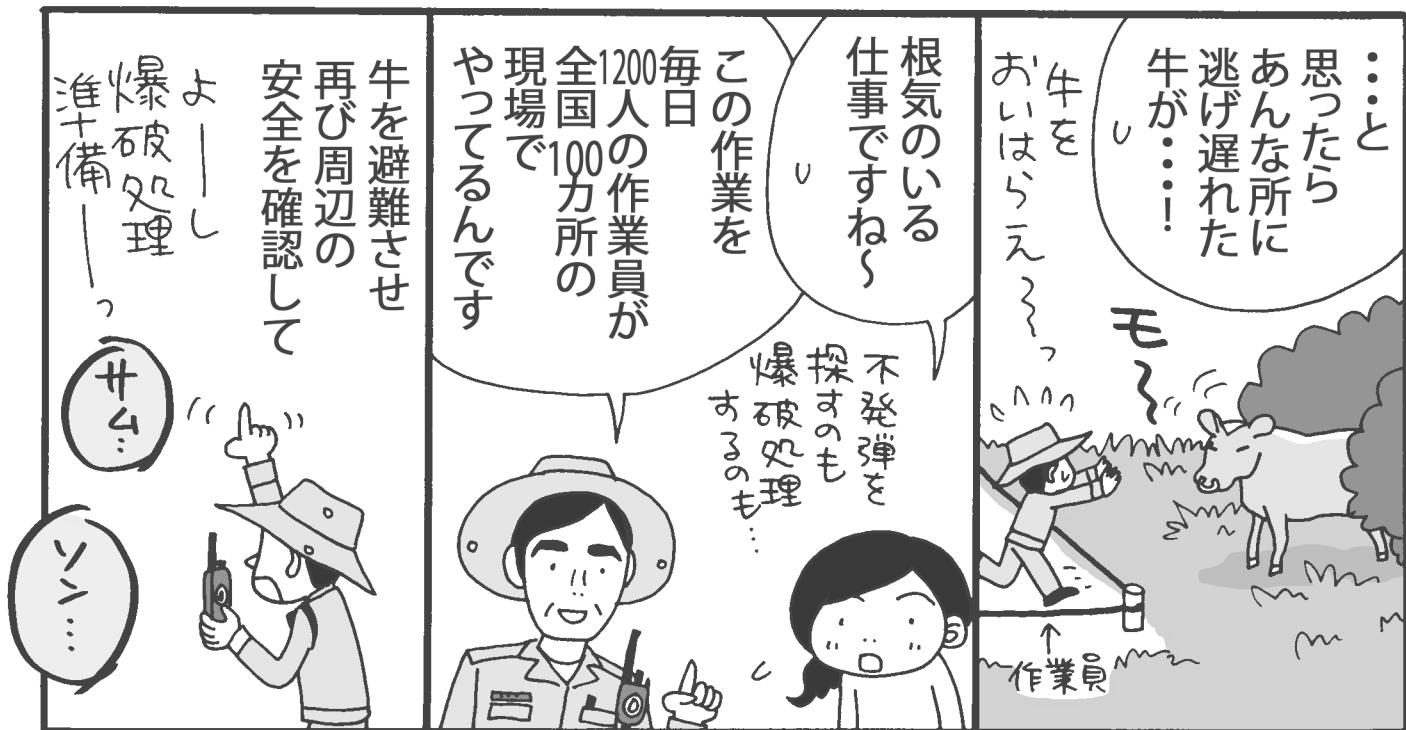
ンモ〜ッ

カラーン

カラーン

牛飼いの人が
牛を連れて
逃げている
音がする…





だけどそれは
日本でも
同じなんですよ

え？

70年前
第二次世界大戦で
沖縄は
20万トンの
爆弾や砲弾を
投下されました

当時の
沖縄の人口は
30万人（推計）

ひとり
0.7トンの
爆弾……

ラオスに
匹敵する

意外に
知られていない
ことですが

沖縄では
今も
70年前の
不発弾による
犠牲者が
出ているんです

鹿児島島でも
小学生が
不発弾で
遊んでいるのを
中学生が発見して
やめさせたり

2009年に

小中学校の
校庭で

水道工事中に

不発弾が

爆発して

4人が負傷

ボンッ!!



→ 後で調べたら
まだ機能
していた
爆弾だった

「
ラオスで
不発弾除去の
仕事を
している？」

そんな
危ない国に
よく
行きますね！

……と
みんなに
言われるけど

日本も
不発弾の問題を
抱えている
国なんです



アジアの内陸国
ラオスの村には
ところどころに
こんな建物が
あります

ホッン...



あそこに
かわいくて
小さな
建物が...

村の
集会所?

「ヘルスセンター」
ですよ

「ヘルス
センター」?

ラオスでは
病院が
少ないので

地域にある
ヘルスセンターで
ケガ人や
病人の
手当を
するんです

サバイバー
(みんなには)
ちゃんと見学
させて下さい

それぞれの
ヘルスセンターには
看護師が
います

入院用の
ベットも
あるんですね

あまり使っ
てないですけど...

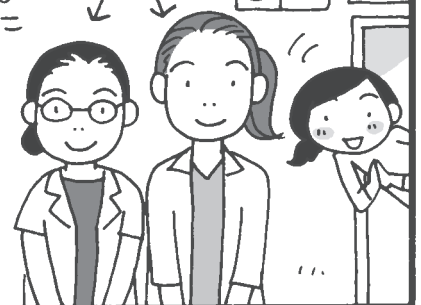
...と
その時

キーッ

うちの嫁が
産気づいた!!



看護師
2人
↓
たまに
お医者さんがいる
ヘルスセンターも
あります



分娩室に
運んで!!

ぞろぞろ

おじいちゃん↓
おばあちゃん↓
兄弟↓
親せき↓
布田と
鍋持と
きこいよ

あーっという間に…
うぎゃー

↑ぐるぐる
女の子
ですよ!

男の子だったら
飼ってる豚
さばいて
食べようって
言ってたけど

女の子だから
鶏だねー

わははは

いゃー
負けた 負けたっ

→家族でかけをしこいたらしい

あー
うー間に…

さっ
帰ろう!

2時間後

ぞろぞろ

無事に
生まれ
良かったわー

鶏
さばかなきゃー

ラオスの
お母さんって
出産後
入院しないの
ですか?

状態が
悪かったら
するけど…

病院や
ヘルスセンターで
産まない人も
まだ
いるんですよ

その日のうちに
家に
帰ることが
多いんです

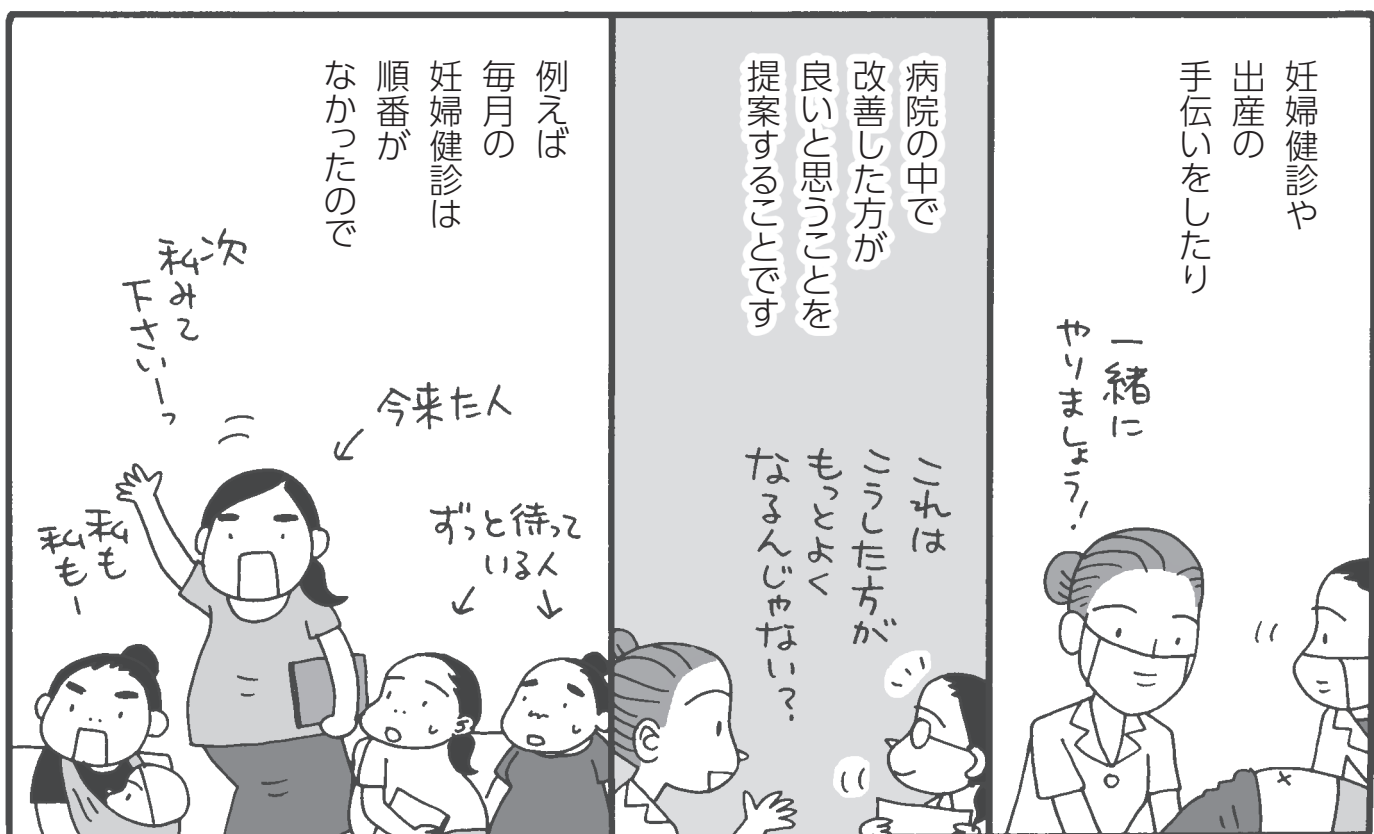
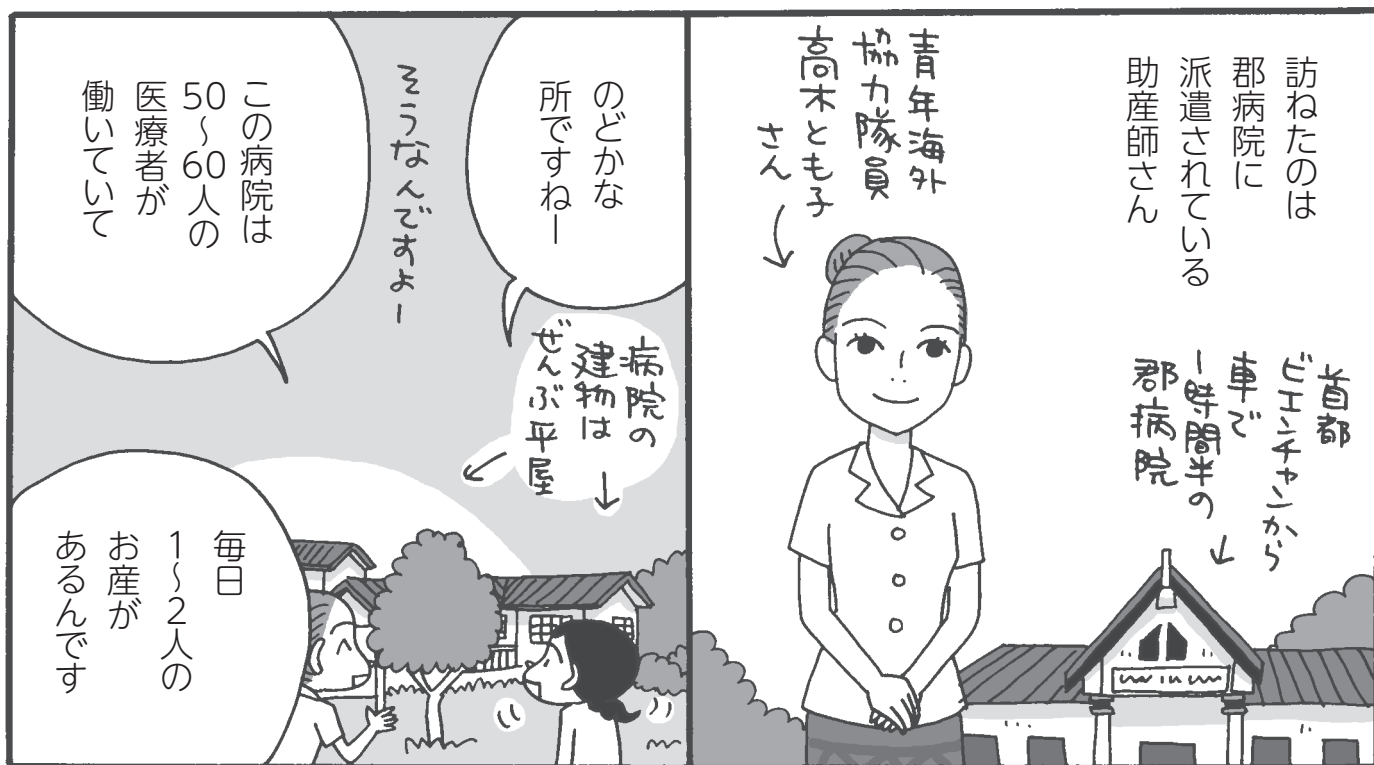
どこで
産むん
ですか?

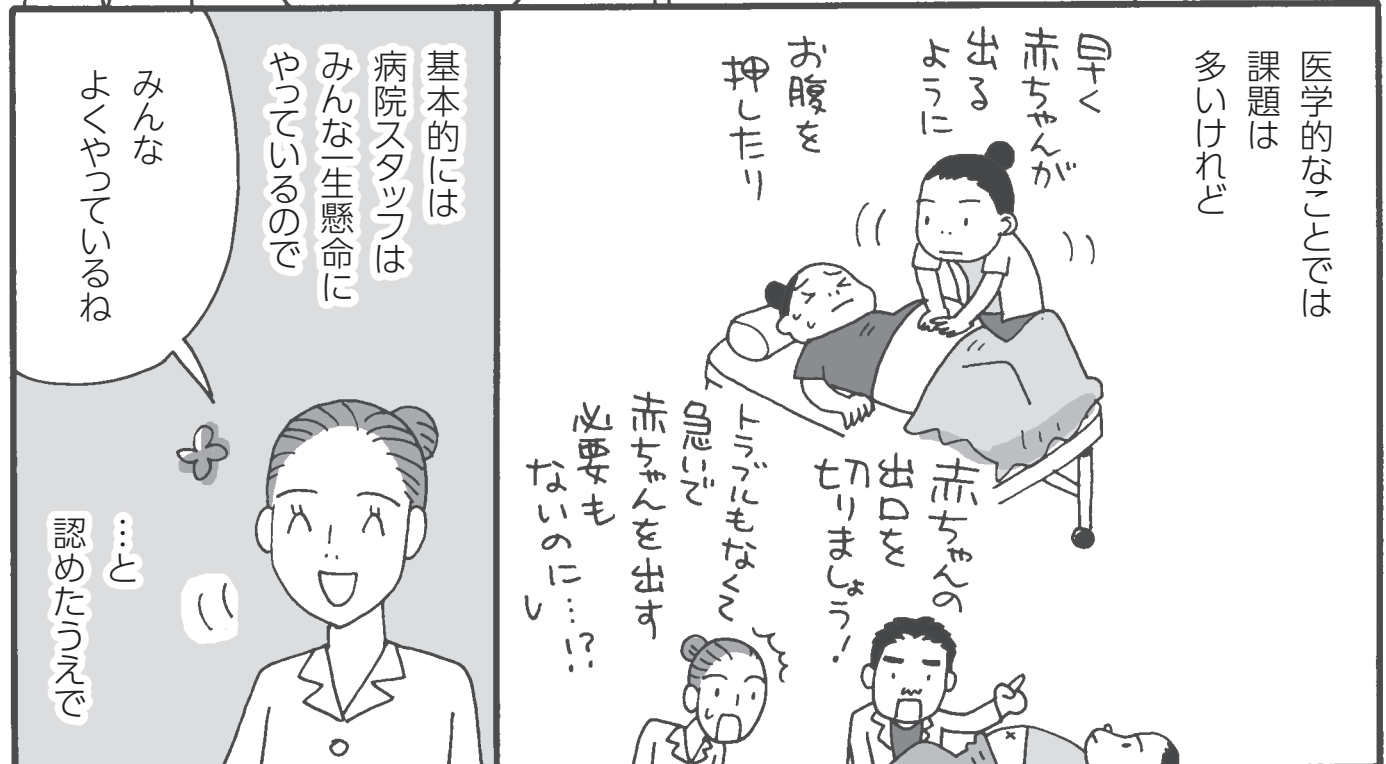
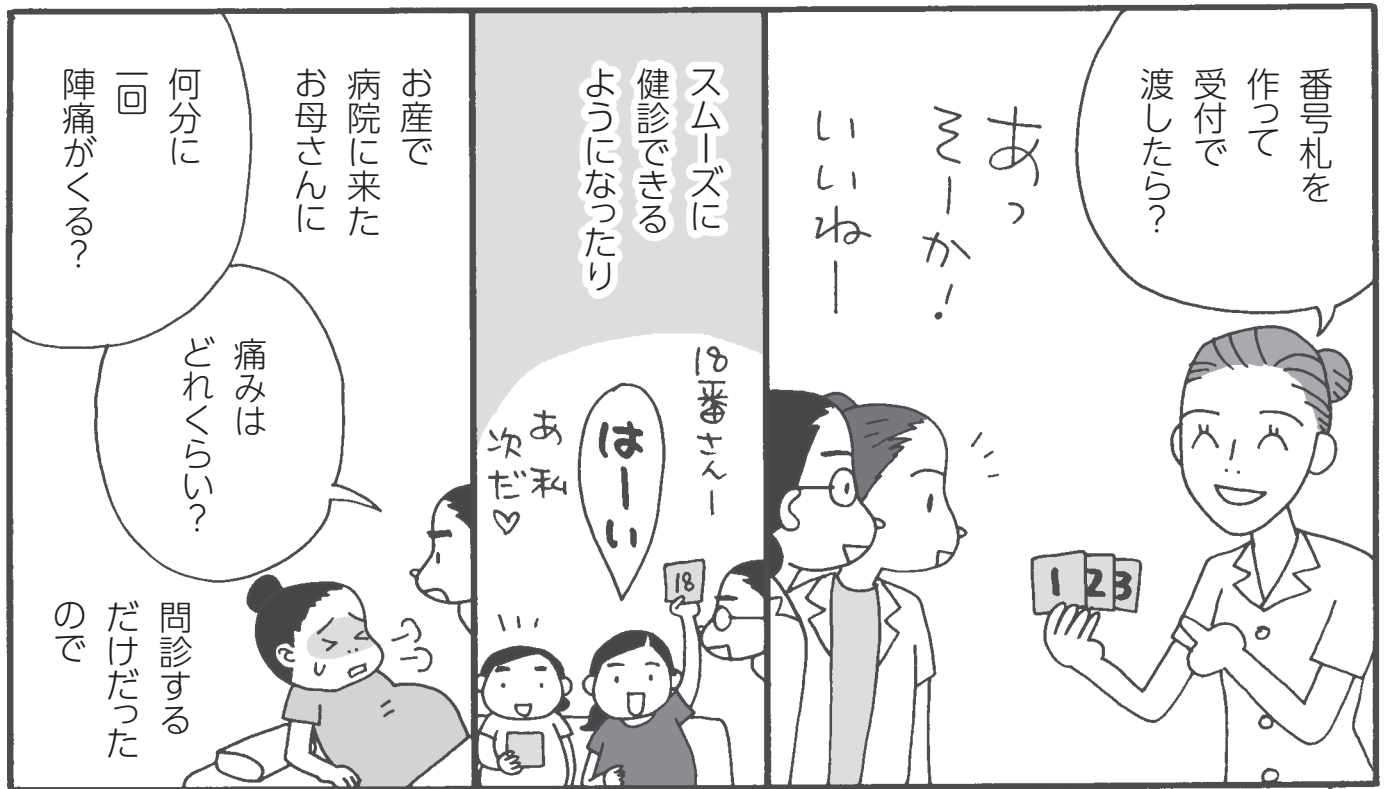
家の中とか
外とか…

外…!!?

同じ
アジアでも
日本とこんなに
違うなんて…

ラオスの
出産のこと
知りたい…!!





日本のように お母さんと赤ちゃんのペースで ゆっくり見守るお産ではない

ここを
こうしたら
もっと良く
なるんじゃない？

次のステップに
進めるように
助言しています

例えば
ラオスには
「ユーファイ」という
出産後の
儀式があつたり
土間に
ベッドを置く
煙で
母子を
いぶす

モモ
モモ

産後の
お母さんと
赤ちゃん

一週間から
一ヶ月間

ユーファイの間は
断食する
地域もある



体を煙で
清めるという
考えらしんです

煙で
いぶす!?

他にも、体の温める
子母を温めるヤカンでいぶす人も...

地方では
今でも
半分以上の人が
自宅で
出産していたり

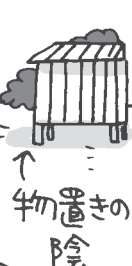
勝手口を
出たところ



私は
この子を
ここで
産みました
物置き
あーん



夫が
家にいたり
外で産まなきゃ
いけなかったけど



あの日は
いなかったの
家で
産みました
土間

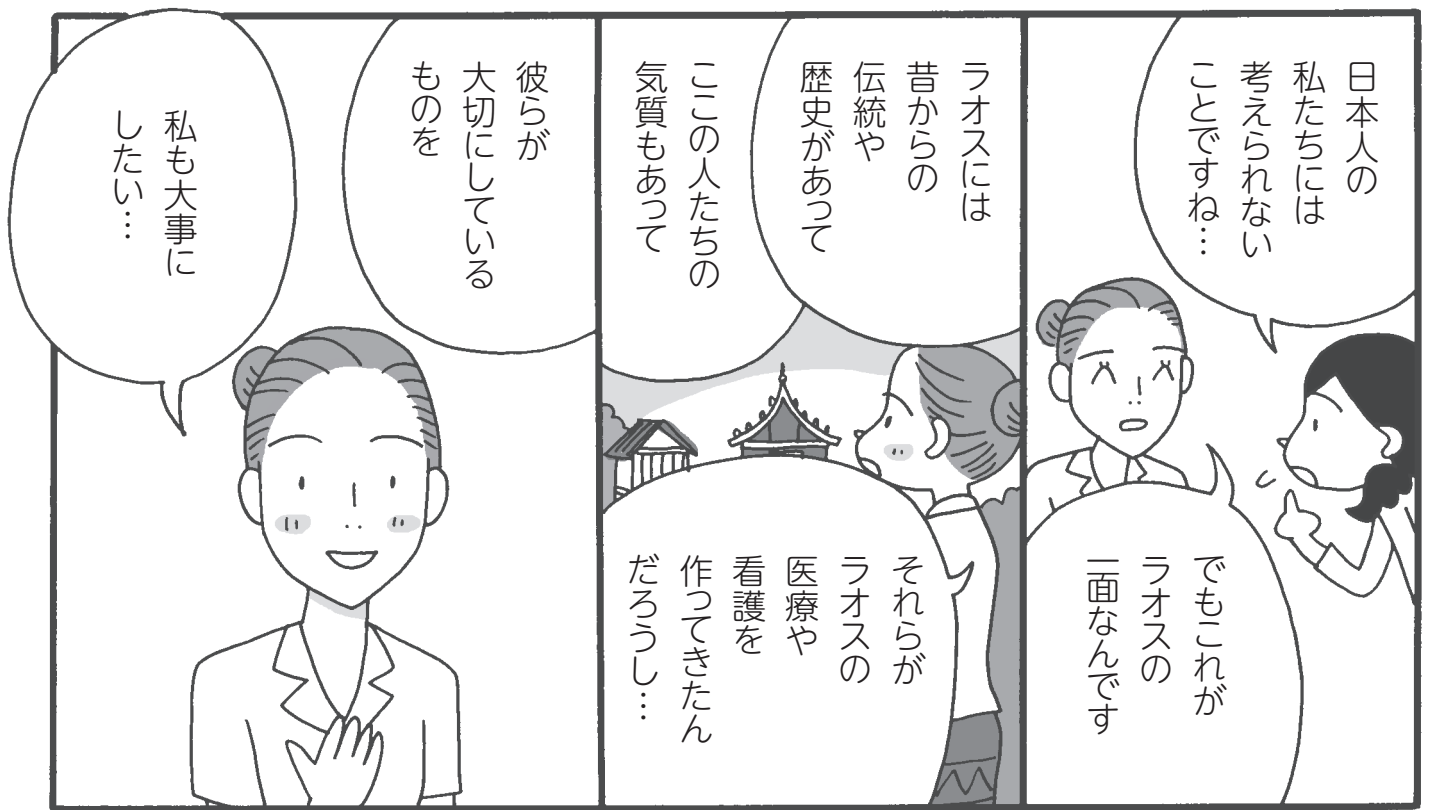
家の中で
出産することも
お産を誰かに
介助してもらう
ことも禁じている
地域では

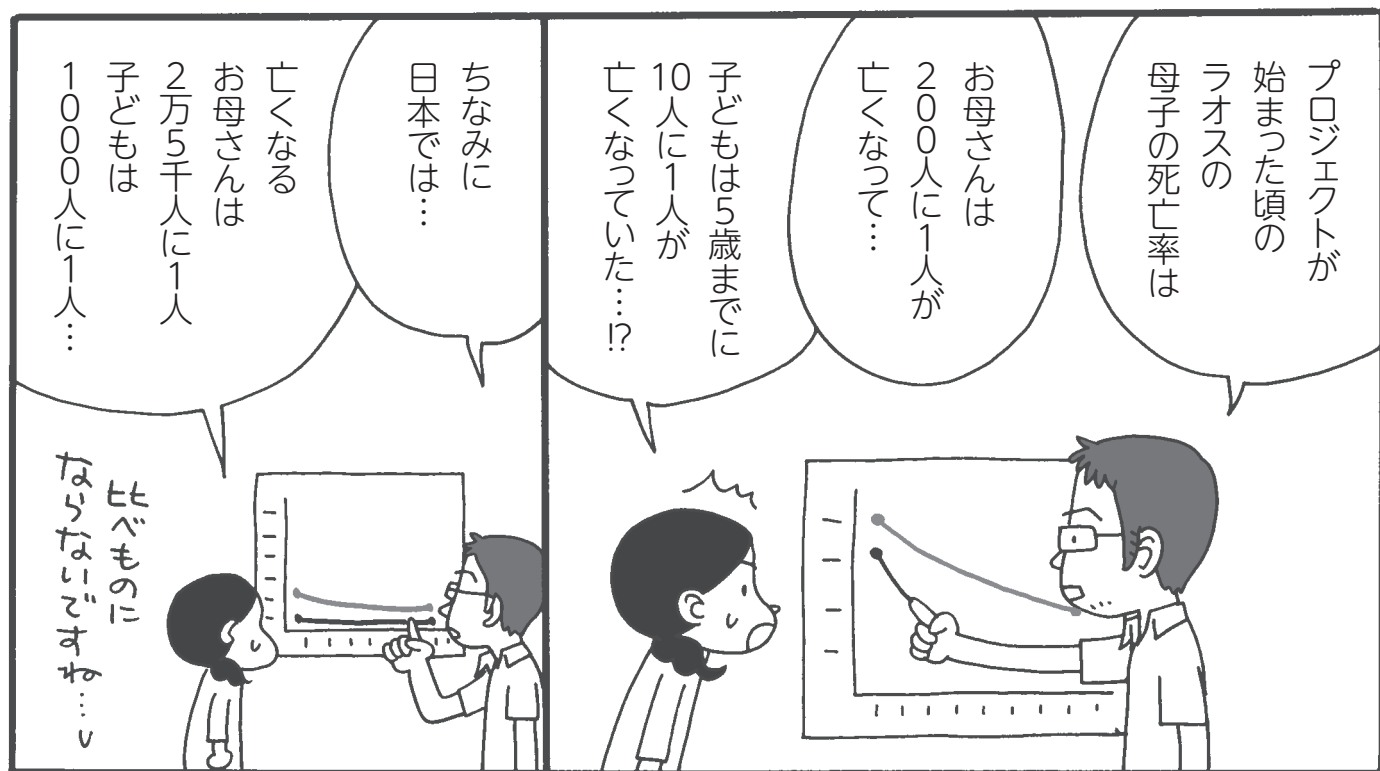
お母さんは
お産小屋で
一人で産んだり

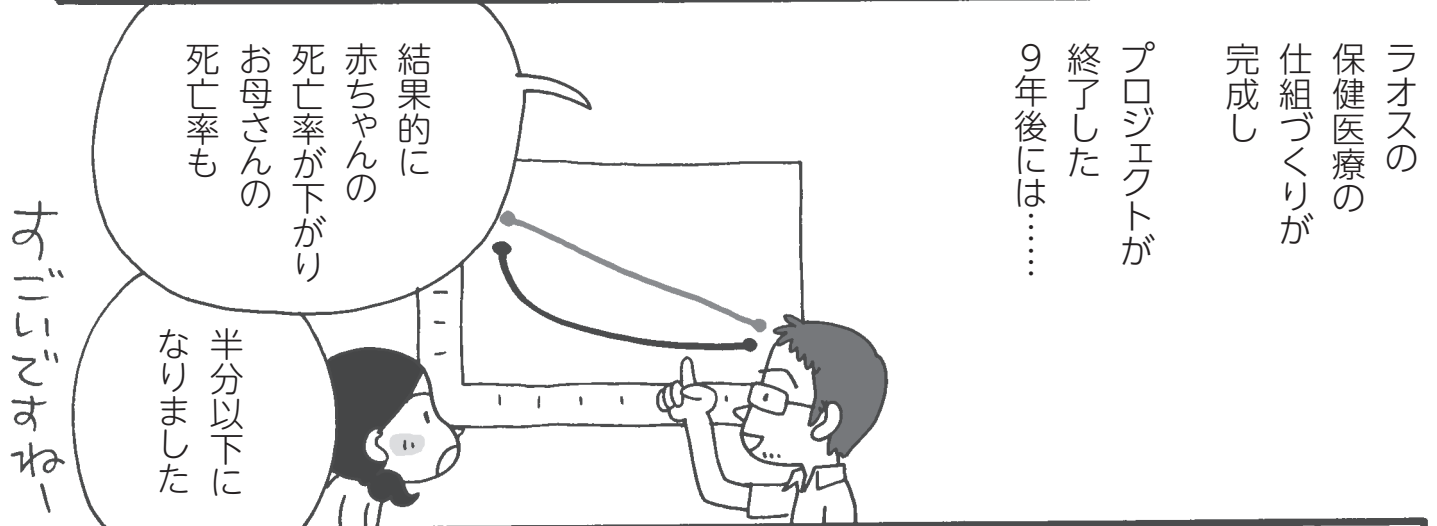
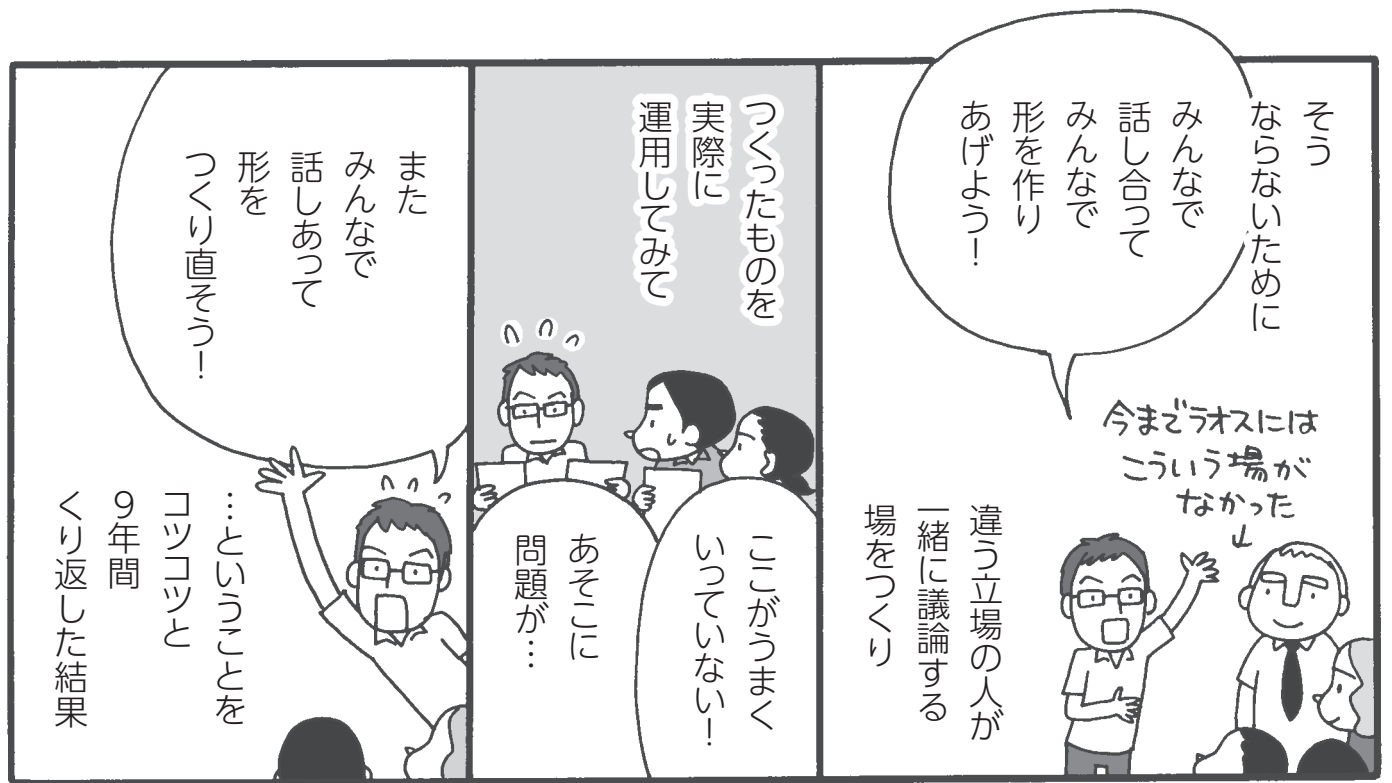
お産小屋が
ない家では
森の中で
一人で産む
お母さんも
います



へ初産婦さんも 一人で産む







↑ 地元の保健師さんたちが主体となり活動できるようにサポートした

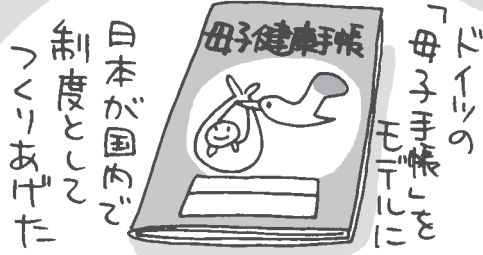
そして
ラオスには
日本の
母子手帳を
モデルにした
モデルにした

ラオス版
母子手帳が
導入されて
います



母子手帳は
妊産婦手帳として
戦時中の日本で
誕生した

日本発の
健康手帳です



母子手帳は
妊娠期間中の
お母さんの体や
生まれた
赤ちゃんの
成長を記録する
だけではなく

妊娠中
と気を付ける
ことは...

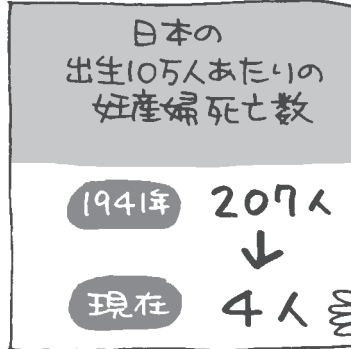
母乳を
こまめに
栄養が豊富
なんですよー

お母さんと
赤ちゃんの
命を守るための
大切な情報が
書かれた
教科書でも
あります



戦前
ラオスと
同じくらい
高かった
日本のお母さんの
死亡率の改善に

母子手帳が
役だったんですよ



ラオスの農村では
テレビなど
普及してなくて
誤った古い慣習が
残っていることが
あるので

そんな地域の人々が
母子手帳を見て
正しい情報を
得られるといいですね...



一歩田に近い
病院まで
30キロ...

↑ 当時は お米券と一緒に配給した

だから
ラオス版は

文字が
読めない
お母さんにも
わかるように
イラストを
入れています

リアルな
絵ですねー

ラオスの
人々は
かわいい絵より
リアルな方が
興味を持ち
やすいです

この
母子手帳は
ラオスでは
「ピンクブック」と
呼ばれて
広まり

ピンクブック
持ってますか？

表紙が
ピンク色

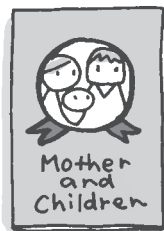
持ってる！

持ってる

健診に来た
サマのお母さんたち

日本の
支援によって
現在
30カ国以上の
国で

いろんな
母子手帳が
誕生しています



だけど
お母さんたちに
配ただけで
本来の目的通りに
使われないと
もったいない...

ラオス版の
母子手帳に
医療者向けの
「母子手帳活用
ガイドブック」を
作るうー！

このガイド本
づくりには
私も
関わらせて
もらいました



ここで
看護師が
マア防接種の
説明を
するように
して...

日本から派遣されている
助産師が集まり
合宿で作成

国の
母子保健
システムと
母子手帳...

一つの国の医療に
新しい形を
生み出すなんて
すごいですね...

一般的に
医療協力って
いうと
こんなイメージが
ありますが



他の国の
保健医療のしくみを
つくりあげる
地道な支援も
日本人は
していることを
知ってほしい
ですねー



そして日本人は
おとなしいとか
会議でしゃべらないとか
言われていますが



日本人だって
国際的な立場で
リーダーシップを
発揮できることを
知ってほしい……!

各国から
ラオスに
来てくれる
専門家

さあ！
みんな
保健省をサポートして
良いものを
つくりあげましょう!!

ラオス
保健省の人



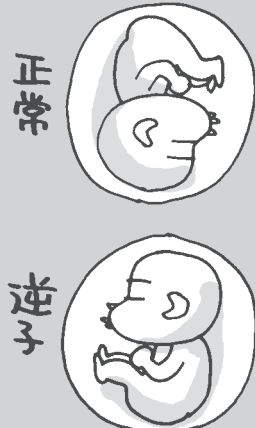
私が知って
ほしいのは

ラオスには
私たち日本人が
忘れかけている
健全さが
あることです

健全さ？

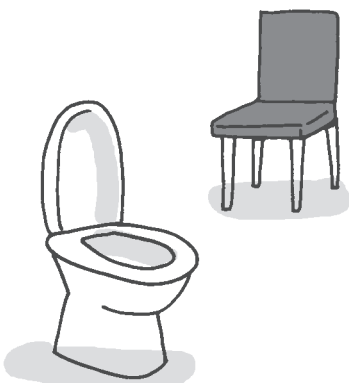


例えば
ラオスの
妊婦さんには
逆子が
少ないんです



現代の
日本では
イスの生活が
主流で

トイレも
洋式だけど



ラオスでは
しゃがむことが多く

あぐらを
かいて
ご飯を
たべたり



しゃがんで
トイレ
したり



かがんで
農作業を
したり



そのおかげで
身長は
高くないのに

女性は骨盤が広く
柔軟で
動きが良くて



赤ちゃんが正しい
位置におさまるから
お産も時間が
かからないことが
多いんです

それに日本では
情報が多すぎて

抱っこひも

う

選ぶにも

お母さん達は

すぐく悩むけど



様だっ用

対面用

前向き用

スリング



何か用のを
買えば
いいの？

結構
必要？

決まらねない
どうしよう！



③赤ちゃんをだっこ ← ②糸がけに ← ①結んで



結ばずに
布の端を
はさむだけの人も。

これ1枚で



首が
すわってない
赤ちゃんも



だっこも
したまま
授乳できる

洗えるし
かさばら
ない



成長した子も
おんぶ
できたり



ここでは
長い布
1枚あれば
OK!



みんな悩みに悩んで配りが多い...

日本で
助産婦として働いてきて

子どもが生まれても
心から笑顔になれない
家庭をたくさん
見てきたけれど...

ラオスでは

みんな
しあわせそう...

ラオスは
医療や
経済など

まだまだ
問題が
山積みの国

病気が...

進めが...

ママ友が
ごきない...

でも
ラオスにいると
日本の
お母さんたちが
抱えている
問題の方が

深刻なのでは
ないか?...と
思ってしまうんです

少々
物がなくても

ちょっと
困ったことが
あっても

ラオスの人の
くぐせは

ボーペンニヤン!

(大丈夫)

日本に帰国したら

ラオスの人々の
シンプルな
子育てと生き方を

日本のお母さんたちに
伝えたいです

国際支援の場では
日本人だから
できること
日本にも
生かせることが
多いことを知りました